

平成26年度 第3回 山梨県森林環境保全基金運営委員会 次第

日 時 平成27年3月23日(月)

午後 1時30分～

場 所 恩賜林記念館 大会議室

1 開 会

2 あ い さ つ

3 議 事

(1) 平成26年度事業の進捗状況等について(資料1)

(2) 平成27年度事業について(資料2)

(3) 基金の管理状況について(資料3)

(4) 事業効果の検証について(資料4-1)(資料4-2)

(5) その他

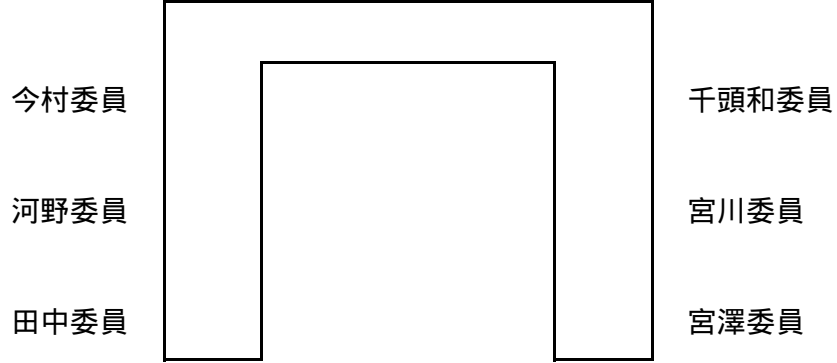
4 閉 会

平成26年度第3回 山梨県森林環境保全基金運営委員会 座席表

日時 平成27年3月23日(月) 午後1時30分～

場所 恩賜林記念館 大会議室

白石委員長



森林環境
総務課長

森林環境部
理事

森林環境部
林務長

森林環境部
次長

森林環境部
技監



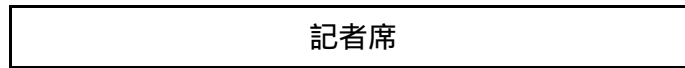
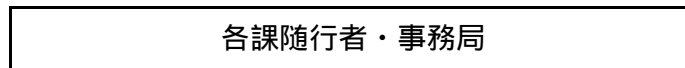
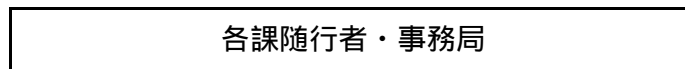
県有林課長

森林整備課長

みどり自然課長

林業振興課長

森林総合
研究所
研究員



入口

山梨県森林環境保全基金運営委員会 委員名簿

任期：平成26年7月26日～平成28年7月25日

(50音順)

氏名	役職等
今村 繁子	山梨県消費生活研究会連絡協議会 会長
河野 東	山梨県森林整備生産事業協同組合 理事長
白石 則彦 (委員長)	東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授
田中 美津江 (委員長代理)	公益財団法人 オイスカ山梨県支部 副会長
千頭和 勝彦	身延町産業課長
藤原 俊男	山梨県森林審議会 公募委員(H24年10月～H26年9月)
宮川 滋	一般社団法人 山梨県法人会連合会 青年部会長
宮澤 由佳	特定非営利活動法人 子育て支援センター ちびっこはうす 理事長

平成 26 年度 森林環境保全基金事業進捗状況等

金額：千円、()内は平成25年度からの繰越分で外数

施策	事業名	予算額		事業内容	備考																							
		国費	基金																									
多様な公益的機能の維持・増進を図る森づくり	荒廃森林再生事業	(329,528) 438,673	(145,926) 186,851	(183,602) 251,822	<p>荒廃した民有林の間伐を進め、針葉樹と広葉樹の混じり合った森林に再生 ()内は、平成25年度からの繰越分で外数</p> <table border="1"> <tr> <th>実施内容</th> <th>計画数量</th> <th>年度内完了予定</th> <th>翌年度完了予定</th> </tr> <tr> <td>間伐</td> <td>975ha (666ha)</td> <td>542ha (666ha)</td> <td>433ha (0ha)</td> </tr> </table>	実施内容	計画数量	年度内完了予定	翌年度完了予定	間伐	975ha (666ha)	542ha (666ha)	433ha (0ha)	<p>これまでの実績</p> <p>H24 316ha H25 417ha H26 1,208ha 計 1,941ha A</p> <p>計画3年次の進捗率 目標値 5,245ha × (3年 / 5年) = 3,147ha 実行値 A + B + C = 2,344ha 進捗率 2,344ha / 3,147ha = 74.5%</p>														
	実施内容	計画数量	年度内完了予定	翌年度完了予定																								
	間伐	975ha (666ha)	542ha (666ha)	433ha (0ha)																								
	里山再生事業	(28,998) 51,273	(7,861) 15,373	(21,137) 35,900	<p>長期間放置され低木類や竹・つるの繁茂により荒廃した里山林を再生 ()内は、平成25年度からの繰越分で外数</p> <table border="1"> <tr> <th>実施内容</th> <th>計画数量</th> <th>年度内完了予定</th> <th>翌年度完了予定</th> </tr> <tr> <td>除伐</td> <td>148ha (93ha)</td> <td>144ha (93ha)</td> <td>4ha (0ha)</td> </tr> </table>	実施内容	計画数量	年度内完了予定	翌年度完了予定	除伐	148ha (93ha)	144ha (93ha)	4ha (0ha)															
実施内容	計画数量	年度内完了予定	翌年度完了予定																									
除伐	148ha (93ha)	144ha (93ha)	4ha (0ha)																									
広葉樹の推進事業	(1,139) 89,604	(508) 46,809	(631) 42,795	<p>広葉樹の植栽により水源かん養や生物多様性などの公益的機能を増進 ()内は、平成25年度からの繰越分で外数</p> <table border="1"> <tr> <th>実施内容</th> <th>計画数量</th> <th>年度内完了予定</th> <th>翌年度完了予定</th> </tr> <tr> <td>広葉樹植栽</td> <td>26ha (2ha)</td> <td>26ha (2ha)</td> <td>0ha (0ha)</td> </tr> <tr> <td>保育(下刈)</td> <td>16ha (0ha)</td> <td>16ha (0ha)</td> <td>0ha (0ha)</td> </tr> </table>	実施内容	計画数量	年度内完了予定	翌年度完了予定	広葉樹植栽	26ha (2ha)	26ha (2ha)	0ha (0ha)	保育(下刈)	16ha (0ha)	16ha (0ha)	0ha (0ha)												
実施内容	計画数量	年度内完了予定	翌年度完了予定																									
広葉樹植栽	26ha (2ha)	26ha (2ha)	0ha (0ha)																									
保育(下刈)	16ha (0ha)	16ha (0ha)	0ha (0ha)																									
小計	(359,665) 579,550	(154,295) 249,033	(205,370) 330,517																									
木材・木質バイオマスの利用促進	甲斐の木づくり推進事業補助金	3,000	0	3,000	<p>県産材を利用する意識を醸成することにより、県産材の利用促進を図るため、市町村、学校法人及び社会福祉法人が行う、県産材を使用した学習用備品を学校施設等に導入するための経費に助成</p> <table border="1"> <tr> <th>補助対象</th> <th>学校名</th> <th>学習用備品名</th> <th>数量</th> </tr> <tr> <td>昭和町</td> <td>町立常永小学校</td> <td>机・椅子</td> <td>144組</td> </tr> <tr> <td>丹波山村</td> <td>村立丹波小学校</td> <td>机・椅子</td> <td>2組</td> </tr> <tr> <td>(学)二十一世紀平和の灯国際文化学園</td> <td>(学)二十一世紀平和の灯国際文化学園素和美小学校</td> <td>机・椅子</td> <td>20組</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>166組</td> </tr> </table>	補助対象	学校名	学習用備品名	数量	昭和町	町立常永小学校	机・椅子	144組	丹波山村	村立丹波小学校	机・椅子	2組	(学)二十一世紀平和の灯国際文化学園	(学)二十一世紀平和の灯国際文化学園素和美小学校	机・椅子	20組				166組			
	補助対象	学校名	学習用備品名	数量																								
昭和町	町立常永小学校	机・椅子	144組																									
丹波山村	村立丹波小学校	机・椅子	2組																									
(学)二十一世紀平和の灯国際文化学園	(学)二十一世紀平和の灯国際文化学園素和美小学校	机・椅子	20組																									
			166組																									
小計	3,000	0	3,000																									
社会全体で支える	県民参加の森林づくり推進事業費	1,317	0	1,317	<p>森林の公益的機能について多くの県民に理解していただき、県民参加の森づくりを進めるための普及啓発事業を実施</p> <p>・森林整備現場見学会の開催</p> <table border="1"> <tr> <th>コース</th> <th>開催年月日</th> <th>行程</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>国中</td> <td>平成26年10月7日(火)</td> <td>・間伐現場見学(南アルプス市平岡地内) ・講座聴講「森林のはたらきについて」(森林総合研究所)</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>郡内</td> <td>平成26年10月9日(木)</td> <td>・間伐現場見学(都留市大野地内) ・講座聴講「森林のはたらきについて」(森林総合研究所)</td> <td>22人</td> </tr> </table> <p>・木質バイオマス普及啓発イベントの開催</p> <table border="1"> <tr> <th>出展イベント名</th> <th>開催年月日</th> <th>会場</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>森林のフェスティバル</td> <td>平成26年10月18日(土)</td> <td>小瀬スポーツ公園(甲府市)</td> <td rowspan="2">家庭用木質バイオマス設備(ペレットストーブ・薪ストーブ等)の展示説明会</td> </tr> <tr> <td>甲州富士川まつり</td> <td>平成26年11月9日(日)</td> <td>利根川公園スポーツ広場(富士川町)</td> </tr> </table>	コース	開催年月日	行程	参加人数	国中	平成26年10月7日(火)	・間伐現場見学(南アルプス市平岡地内) ・講座聴講「森林のはたらきについて」(森林総合研究所)	56人	郡内	平成26年10月9日(木)	・間伐現場見学(都留市大野地内) ・講座聴講「森林のはたらきについて」(森林総合研究所)	22人	出展イベント名	開催年月日	会場	内容	森林のフェスティバル	平成26年10月18日(土)	小瀬スポーツ公園(甲府市)	家庭用木質バイオマス設備(ペレットストーブ・薪ストーブ等)の展示説明会	甲州富士川まつり	平成26年11月9日(日)	利根川公園スポーツ広場(富士川町)
					コース	開催年月日	行程	参加人数																				
国中	平成26年10月7日(火)	・間伐現場見学(南アルプス市平岡地内) ・講座聴講「森林のはたらきについて」(森林総合研究所)	56人																									
郡内	平成26年10月9日(木)	・間伐現場見学(都留市大野地内) ・講座聴講「森林のはたらきについて」(森林総合研究所)	22人																									
出展イベント名	開催年月日	会場	内容																									
森林のフェスティバル	平成26年10月18日(土)	小瀬スポーツ公園(甲府市)	家庭用木質バイオマス設備(ペレットストーブ・薪ストーブ等)の展示説明会																									
甲州富士川まつり	平成26年11月9日(日)	利根川公園スポーツ広場(富士川町)																										
					<p>森林整備現場見学会を開催 森林環境税を活用した間伐の実施箇所を見学し、事業実施による効果等を説明した。</p> <p>木質バイオマス普及啓発イベントを開催 県内2箇所で開催したイベントにブースを出展し、家庭用のペレットストーブ等の展示・説明を行った。</p>																							

平成26年度 森林環境保全基金事業進捗状況等

金額：千円、()内は平成25年度からの繰越分を外数

施策	事業名	予算額		事業内容				備考			
		国費	基金	補助事業者	活動場所	活動内容	参加人数				
社会全体で支える仕組みづくり	森林体験活動支援費補助金	2,400	0	2,400	子どもたちが、森林の中で様々な体験活動を行い、森づくりの重要性や必要性を学ぶことで、将来にわたり森林を守っていく心を育むことを目的に、教育機関等が森林環境教育の一環として行う森林体験活動に対し助成				18教育機関等に対して助成		
					山宮保育園	健康の森(甲府市)、オオムラサキセンター(北杜市)	森林散策、工作、森林学習	70人			
					すみよし愛児園	子どもふれあいの森(都留市)	森林散策、森林学習	17人			
					南アルプス市立芦安中学校	芦安中学校学校林(南アルプス市)	学校林の整備、森林学習	25人			
					友愛保育園	北杜市明野町地内の山林	植樹、森林散策	37人			
					田富みかさ幼稚園	オオムラサキセンター(北杜市)	森林散策、森林観察	65人			
					甲府市立甲運小学校	鳴沢村富士山(県有林)	自然観察、獣害防除ネット設置	66人			
					菜の花保育園	健康の森(甲府市)	森林散策、野鳥観察	37人			
					池田第二保育園	池田公園・芸術の森公園(甲府市)ほか	自然観察、森林体験	82人			
					山梨市立山梨小学校	県立八ヶ岳少年自然の家(北杜市)	冒険ハイク、ナイトハイク	51人			
					山梨市立牧丘第三小学校	乙女高原(山梨市)、富士山科学研究所(富士吉田市)	自然体験学習、森林散策	50人			
					笛吹市立御坂東小学校	おらんとこの森(笛吹市)	森林散策、木工工作	36人			
					みいづ保育園	ハンモックの森、ザゼンソウ公園(甲州市)	森林散策	129人			
					峡南幼稚園	キープ自然学校(北杜市)	森林散策、自然観察	30人			
					大野山保育園	大柳川渓谷(富士川町)、富士川クラフトパーク(身延町)	自然観察、森林浴、工作	26人			
					森のようちえんきらきら星	増穂ふるさと自然塾(富士川町)	間伐体験、植菌体験	47人			
					上野原市立島田小学校	島田小学校学校林(上野原市)	自然観察、巣箱作り	62人			
					開地保育園	金川の森(笛吹市)、開地保育園(都留市)	どんぐり拾い、植樹	60人			
ひまわり幼稚園	東京大学附属演習林(山中湖村)	森林散策、樹木調べ	100人								
	計		18教育機関等		990人						
社会全体で支える仕組みづくり	地域の森づくり活動支援費補助金	(298) 2,000	(0) 0	(298) 2,000	NPO等民間団体や地域住民など、多くの県民が森づくり活動を通じて、森林の果たしている役割について理解を深め、社会全体で森林を守り育てる気運の醸成を図ることを目的に、県内のNPO等民間団体が行う森林整備活動に対し助成				7団体に対して助成 (H25年度繰越の3団体を含む)		
					わんぱく森の塾(H25年度繰越)	甲州市塩山 地内	間伐、森林整備	5人			
					百年まちづくりの会(H25年度繰越)	笛吹市境川町 地内	植樹、伐採等	25人			
					北富士林業研究会(H25年度繰越)	南都留郡富士河口湖町河口大萱 地内	間伐、植樹	72人			
					甘利山倶楽部	韮崎市旭町 地内	植樹、下刈、除伐、間伐、獣害防除	127人			
					スリーピークス八ヶ岳トレイル実行委員会	北杜市小淵沢町 地内	下刈	170人			
					八ヶ岳南麓景観を考える会	北杜市大泉町 地内	植樹	40人			
					道志・森づくりネットワーク	道志村川原畑 地内	間伐、伐採	20人			
						計		7団体			459人
					社会全体で支える仕組みづくり	運営委員会環境保全基金	459	0		459	森林環境保全基金事業の効果の検証等に広く県民の意見を反映させるため、森林環境保全基金運営委員会を設置
・山梨県森林環境保全基金運営委員会の開催											
区分	開催年月日	場所	内容								
第1回	平成26年7月30日(水)	恩賜林記念館	森林環境保全基金及び実施事業について、H25・H26年度事業について等								
第2回	平成26年11月7日(金)	風土記の丘研修センター	現場視察、H25年度事業の実績、H26年度事業の状況、基金の管理状況								
第3回	平成27年3月23日(月)	恩賜林記念館	H26年度事業の進捗状況、H27年度事業計画、事業効果の検証について								
・事業効果検証モニタリング調査											
14箇所を調査を実施中(荒廃森林再生事業：12箇所、広葉樹の森づくり推進事業：2箇所)											
	計	(298) 6,176	(0) 0	(298) 6,176							
合計		(359,963) 588,726	(154,295) 249,033	(205,668) 339,693							

平成27年度森林環境保全基金事業 一覧

資料2

金額単位：千円、()内は平成26年度当初予算額

施策	事業名 (担当課)	事業内容	予算額			備考
				国補	基金	
多様な公益的機能の維持・増進を図る森づくり	森林環境保全推進事業費 (森林整備課 県有林課)	荒廃森林再生事業 【879ha】 荒廃した民有林の間伐を進め、針葉樹と広葉樹の混じり合った森林に再生 ・荒廃森林を解消するための間伐 ・間伐区域内の急傾斜地等で伐倒木を林内に放置することが適当でない箇所での伐倒木の集積 ・間伐区域内の残存木を獣害から保護(皮剥防止工) ・間伐を実施するために必要な森林作業道開設、既設作業道等補修 ・森林所有者の確認・把握、事前準備のための荒廃林の調査、所有者との現地踏査、測量など 事業実施に向けた取り組み作業	427,608 (438,673)	184,410 (186,851)	243,198 (251,822)	
		里山再生事業 【131ha】 長期間放置され低木類や竹・つるの繁茂により荒廃した里山林を再生 ・里山林の再生を目的とした不用木の除去 ・野生鳥獣対策や里山景観の向上を図るための除伐木の林内集積 ・里山林に侵入した竹等の除去 ・荒廃した里山林の解消のため、森林に編入が可能な耕作放棄地の絞り込み調査 ・森林所有者の確認・把握、事前準備のための荒廃林の調査、所有者との現地踏査、測量など 事業実施に向けた取り組み作業	60,628 (51,273)	20,815 (15,373)	39,813 (35,900)	
		広葉樹の森づくり推進事業 【17ha】 広葉樹の植栽により水源かん養や生物多様性などの公益的機能を増進 ・広葉樹苗木の植栽・保育 ・苗木の食害防止を図るための植栽木の保護(食害防止工) ・森林所有者の確認・把握、事前準備のための荒廃林の調査、所有者との現地踏査、測量など 事業実施に向けた取り組み作業(民有林のみ)	81,242 (89,604)	42,424 (46,809)	38,818 (42,795)	
	小計	569,478 (579,550)	247,649 (249,033)	321,829 (330,517)		
木材・木質バイオマスの利用促進	甲斐の木づかい推進事業費補助金 (林業振興課)	県産材を利用する意識を醸成することにより県産材の利用促進を図るため、市町村、学校法人及び社会福祉法人が行う、県産材を使用した学習用備品を学校施設等に導入するための経費に助成 ・補助率：1/2以内 ただし、机・椅子1セットの補助の上限30,000円 【机・椅子195組】	3,900 (3,000)	0 (0)	3,900 (3,000)	
	小計	3,900 (3,000)	0 (0)	3,900 (3,000)		

施策	事業名 (担当課)	事業内容	予算額			備考
				国補	基金	
社会全体で支える仕組みづくり	県民参加の森林づくり推進事業費 (森林環境総務課) (林業振興課)	地球温暖化防止、水源かん養など森林の持つ様々な機能を多くの県民に理解していただき、県民参加の森づくりを進めるため、普及啓発事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「森林整備現場見学会」 森林環境保全基金事業(森林整備)実施箇所を数箇所見学し、事業内容等を説明 ・森林環境税情報誌「木もれ日」の発行 森林整備の実施状況や、森林環境税を活用して活動を行っている団体等を紹介する情報誌を発行し、県民に広く情報発信する。 ・「木質バイオマス普及啓発イベント」 家庭用の木質バイオマス設備(ペレットストーブ・薪ボイラー等)の展示・説明会(2回) 	1,820 (1,317)	0 (0)	1,820 (1,317)	
	森林体験活動支援費補助金 (みどり自然課)	子どもたちが、森林の中で様々な体験活動を行い、森づくりの重要性や必要性を学ぶことで、将来にわたり森林を守っていく心を育むことを目的に、教育機関等が、学校林や森林公園等で森林環境教育の一環として行う森林体験活動に対し助成 <ul style="list-style-type: none"> ・対象事業：次のいずれにも該当する森林体験活動 ア 森林散策、森林の観察、森林を活用した自然体験学習会、間伐体験、植樹体験等の活動 イ 学校林や森林公園等、県内において既に整備されているフィールドを活用し教育機関等が直接実施、又は、教育機関等がNPO等の団体に実施委託 ・補助率：10/10以内(ただし、1教育機関等当たりの交付限度30万円) 	2,400 (2,400)	0 (0)	2,400 (2,400)	
	地域の森づくり活動支援費補助金 (みどり自然課)	NPO等の民間団体や地域住民など多くの県民が、森づくり活動を通じて、森林の果たしている役割についての理解を深め、社会全体で森林を守り育てる気運の醸成を図ることを目的に、山梨県内に事務所を有するNPO等民間団体が行う森林整備活動に対し助成 <ul style="list-style-type: none"> ・対象事業：次のいずれにも該当する森づくり活動 ア 植栽、下刈、除伐、間伐等の森林整備活動 イ 森林所有者との協定を締結した県内の民有林を整備するもの 協定内容：土地の立ち入り、森づくり活動、事業実施から10年間の皆伐禁止の承諾等 ・補助率：1/2以内(ただし、1件当たりの交付限度25万円) 	1,400 (2,000)	0 (0)	1,400 (2,000)	
	森林環境保全基金運営委員会開催費 (森林環境総務課)	森林の保全等を目的とした新税活用事業の効果の検証等に広く県民の意見を反映させるため、森林環境保全基金運営委員会を設置 <ul style="list-style-type: none"> ・委員8名 ・年2回開催 ・事業効果検証モニタリング調査 森林環境保全推進事業実施後の経年変化を定点観測し、事業効果の検証調査を行う 	464 (459)	0 (0)	464 (459)	
小計			6,084 (6,176)	0 (0)	6,084 (6,176)	
合計			579,462 (588,726)	247,649 (249,033)	331,813 (339,693)	

森林環境保全基金管理状況

平成26年度（見込み）

平成25年度からの残金 単位：円

区分	金額
平成24年度からの残金等	22,734,361
執行残額（平成24年度繰越事業分・平成25年度事業分）	2,519,939
基金利子収入	5,701
計	25,260,001

A

基金積立額

区分	金額
森林環境税 平成25年度 税収額確定に伴う精算額	4,877,975
森林環境税 平成26年度 税収見込額	272,357,000
神奈川県との共同事業負担金	44,602,000
小計	321,836,975
基金利子収入	62,029
計	321,899,004

B

C

充当額

区分	金額
森林環境保全基金事業費充当額	A+B+C 339,693,361

基金残高

区分	金額
平成24年度からの残金等	2,519,939
平成25年度 税収額確定に伴う精算額	4,877,975
小計	7,397,914
平成26年度 基金利子収入	67,730
計	7,465,644

1 : 27年度の森林環境保全基金事業に充当

2 : 27年度末まで運用し、28年度以降の森林環境保全基金事業に充当

平成27年度（予定）

平成26年度からの残金 単位：円

区分	金額
執行残額（平成24年度繰越事業分・平成25年度事業分）	2,519,939
平成25年度 税収額確定に伴う精算額	4,877,975
小計	7,397,914
平成26年度 基金利子収入	67,730
計	7,465,644

F

基金積立額

区分	金額
森林環境税 平成27年度 税収見込額	277,916,000
神奈川県との共同事業負担金	46,500,000
小計	324,416,000
基金利子収入	43,000
計	324,459,000

G

充当予定額

区分	金額
森林環境保全基金事業費充当額	F + G 331,813,914

基金残高

区分	金額
平成26年度 基金利子収入	67,730
平成27年度 基金利子収入	43,000
計	110,730

3

3 : 28年度末まで運用し、29年度以降の森林環境保全基金事業に充当

事業効果検証のためのモニタリング調査について

森林環境税を活用して実施している森林整備について、事業実施の効果を検証するために県内の14箇所（荒廃森林再生事業12箇所、広葉樹の森づくり推進事業2箇所）においてモニタリング調査を行っています。

荒廃した人工林の針広混交林化の過程や、植栽した広葉樹の生育状況を検証する調査なので、今後5年程度は継続して調査を行います。

ここに、事業実施後1年が経過した時点での状況を報告します。

荒廃森林再生事業(間伐)

光環境調査では、開空度（森林内で樹冠方向を撮影した写真の中で、空が見える部分の面積割合）が事業実施前と比較して、平均で2.5%（7.6% - 10.1%）増加しました。

植生・更新調査では、植被率（地面を植物が覆っている面積割合）が事業実施前と比較して、平均で3%（7.1% - 10.1%）増加し、発生木本種数も平均で6.4種増加しましたが、双方とも箇所ごとに大きな違いがみられました。

土壌移動量調査では、事業実施前と比較して、各箇所とも土砂の移動量が増加する傾向がみられました。伐採作業時の林床部の攪拌の影響などによるものと考えられます。

開空度が改善され、全ての箇所において木本種の発生数が増加傾向にあることから、針広混交林化に向けて順調に推移していることが伺われます。

広葉樹の森づくり推進事業(植栽)

活着率は90%前後を保っています。

根元径、樹高とも順調に増加しています。

食害防止ネットは健在で、有効に機能しています。

植栽木がシカなどによる食害から守られ、順調に生育しています。

箇所ごとの詳細な調査の状況については、資料4 - 1で報告します。

また、里山再生事業については、事業の効果を定量的に示すことが困難なことから、実施箇所周辺にお住まいの方を対象にアンケートを行い、満足度調査を行っています。詳細は資料4 - 2で報告します。

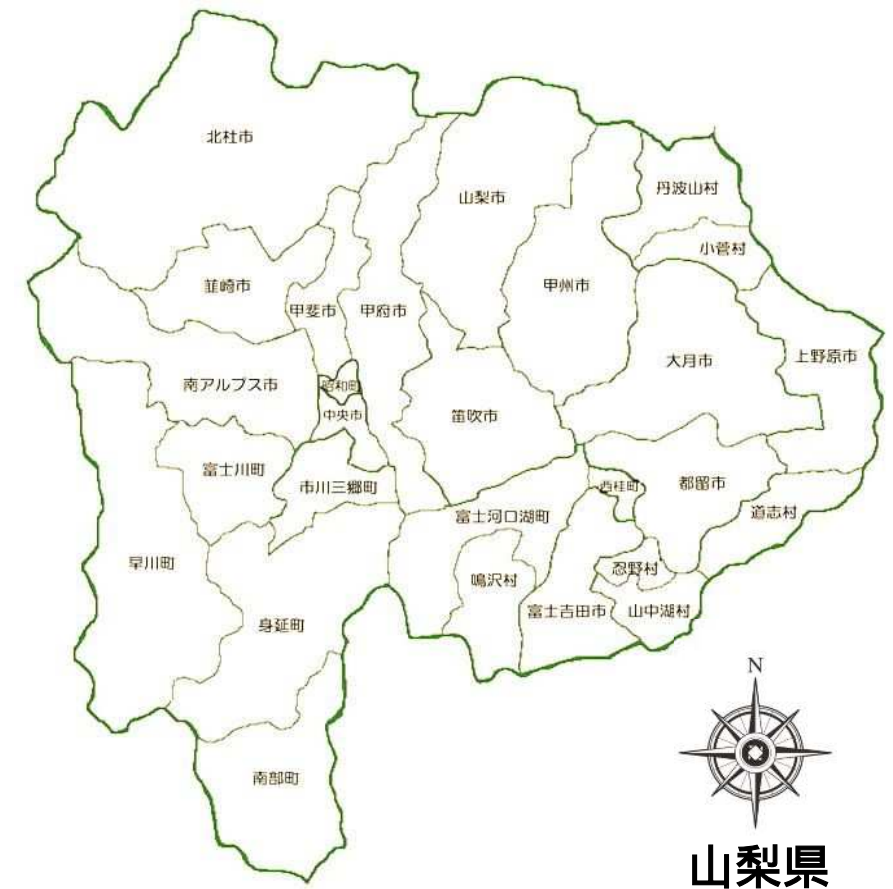
事業効果の検証について

調査箇所一覧表

事業名	番号	箇所名	樹種	林齢 (年生)	本数 (本/ha)	平均胸高直径 (cm)	植被率 (%)	木本種数 (種)	標高 (m)	地角	斜度 (度)
荒廃森林 再生		南アルプス市上宮地	ヒノキ	42	2,350	18.3	2.3	11	650	西	32
		南アルプス市平岡	ヒノキ	38	1,550	20.6	5.1	6	870	北	34
		北杜市武川町三吹	ヒノキ	50	875	26.4	19.6	7	550	北東	29
		山梨市三富上釜口	ヒノキ	31	1,100	24.8	2.6	12	830	東	36
		甲州市塩山上萩原	ヒノキ	17	3,225	10.8	0.8	7	880	北西	9
		笛吹市御坂町上黒駒	ヒノキ・アカマツ	36	1,425	21.3	15.0	13	700	南西	25
		南巨摩郡身延町清子枯上	スギ・ヒノキ	57	950	26.5	22.6	0	500	東	31
		南巨摩郡南部町井出竹の沢	スギ・ヒノキ	52	1,450	25.0	4.9	3	350	南西	34
		南巨摩郡南部町福土池の山	スギ・ヒノキ	53	1,625	22.6	9.5	3	400	南西	33
		大月市笹子町黒野田屋影	ヒノキ	50	1,575	21.5	0.1	0	700	南	35
		上野原市西原腰掛	ヒノキ	29	2,050	18.5	1.1	2	570	南西	37
		南都留郡富士河口湖町大石節待山	スギ	58	1,250	24.4	1.1	1	1,030	東	32
広葉樹の森 づくり推進		山梨市牧丘町杣口杣口山	ミズナラ	1	1,450	-	-	-	1,780	南	18
		南巨摩郡富士川町平林奥仙重	ク・ミズナラ	1	1,800	-	-	-	1,750	南西	30

本数についてはヘクタールあたりに換算

調査箇所位置図



調査項目

・荒廃森林再生事業

1 毎木調査: 残存木の生育状況を調査
・20m x 20mの調査区内の成立木の樹種、胸高直径等のデータを採取

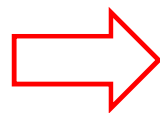


毎木調査状況(胸高直径の測定)

2 光環境調査: 開空度の経年変化を調査
・魚眼レンズ付カメラで樹冠方向の全天空写真を撮影し、開空度を測定
・事業実施前後に同じ場所、類似条件下で撮影し、開空度を比較



施業前の全天空写真



施業後の全天空写真

3 植生・更新調査: 植被率の経年変化を調査
・調査区内に1m x 1mの枠を10箇所設け、写真を撮影し、下層植生が覆っている面積比率を算定



林床部に設置した調査枠内の状況

4 土壌移動量調査: 土砂流出量の経年変化を調査
・調査区内に土砂受け箱を設置し、内部に溜まった土砂の乾燥重量を測定



土砂受け箱設置状況

・広葉樹の森づくり推進事業

1 活着状況の調査
・10m x 10mの調査区内の植栽木の活着状況を目視で調査し、活着率を算定。



調査区の状態



生育状況の確認

2 根元径の測定
・調査区内の植栽木の根元径を測定し、経年変化を調査。



根元径の測定(植栽前)



根元径の測定(植栽後)

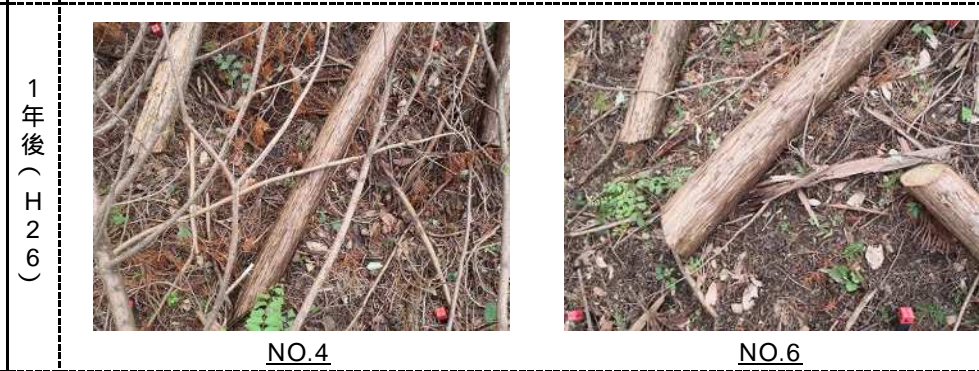
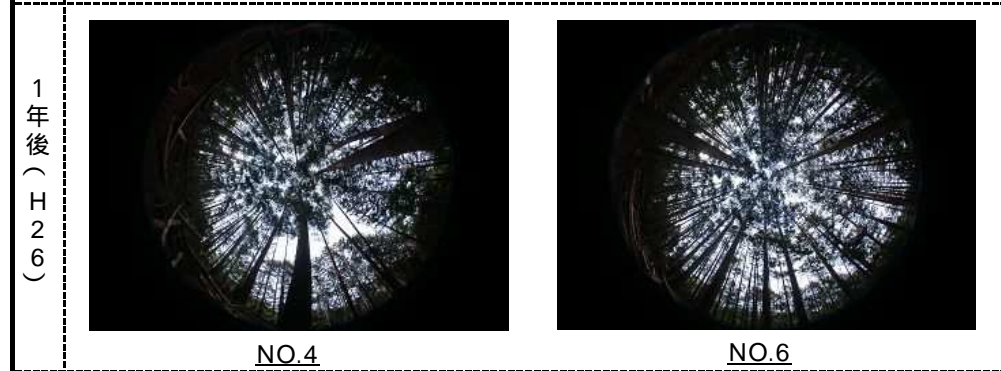
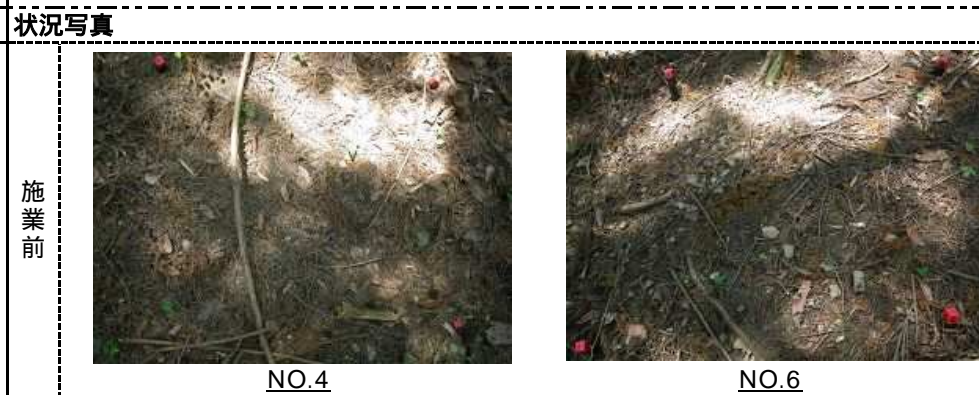
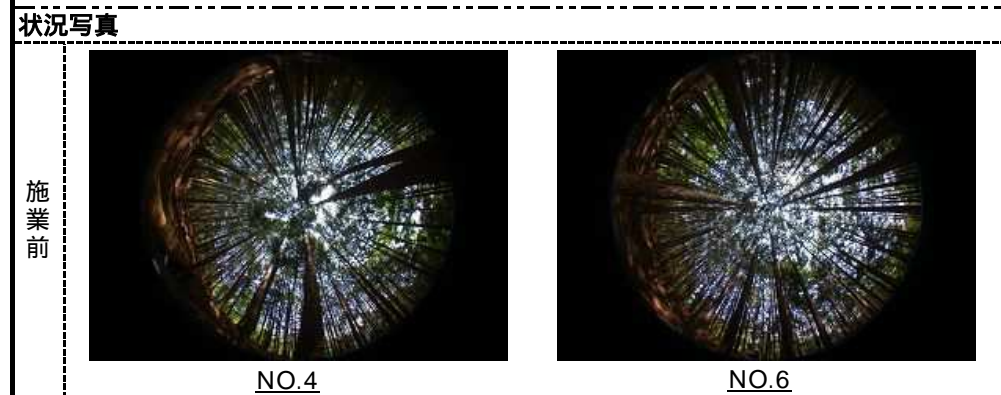
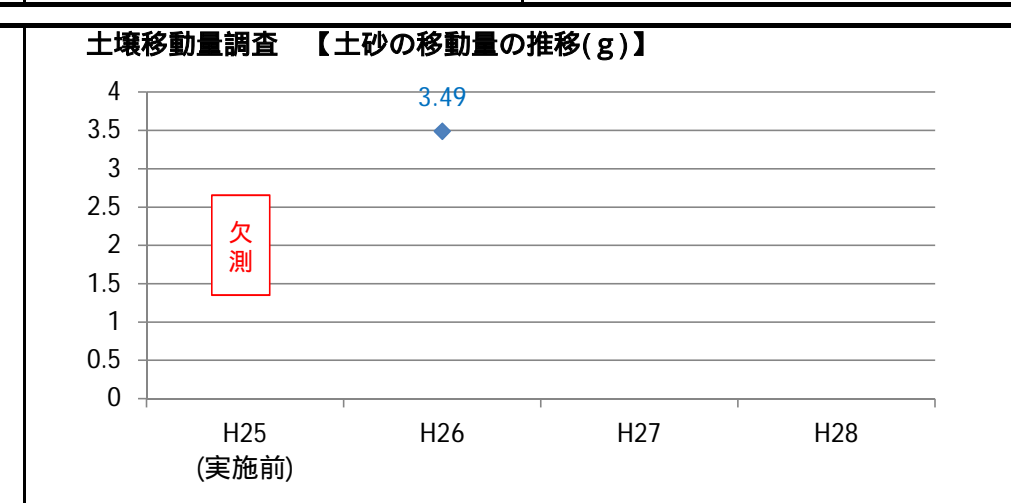
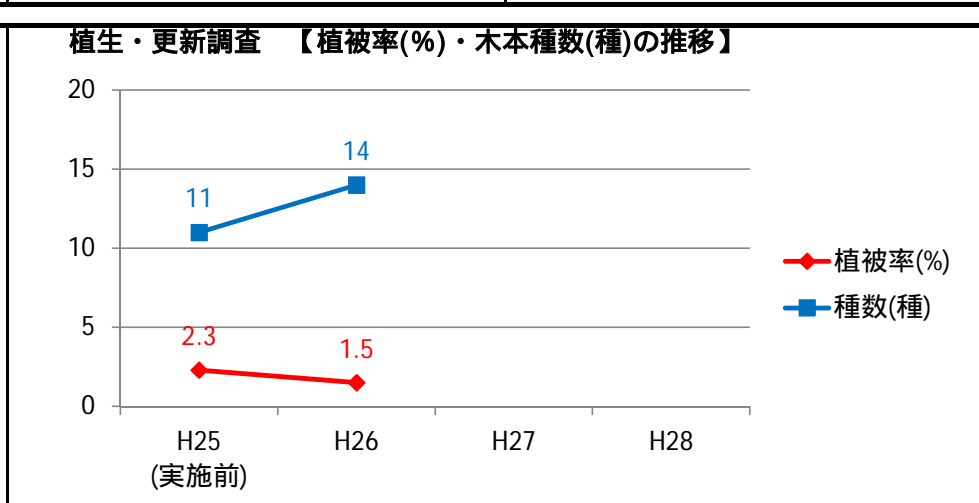
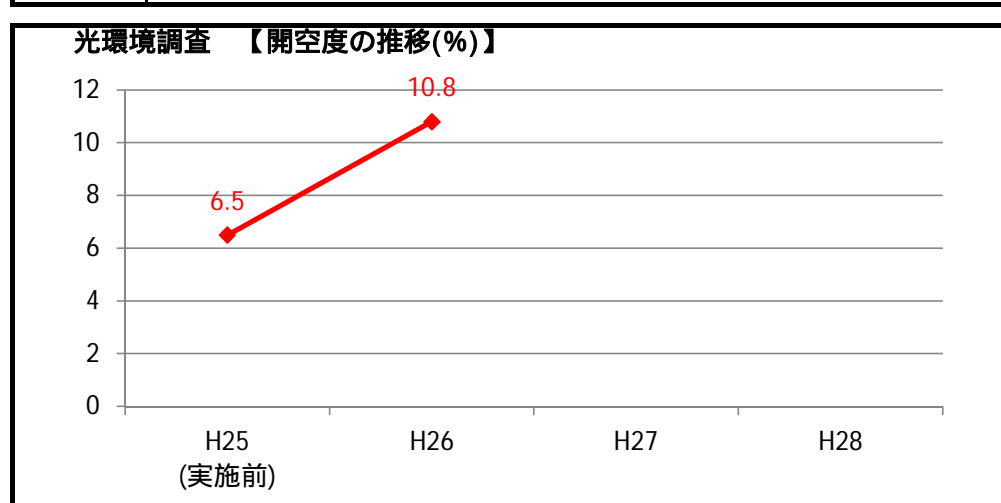
3 樹高の測定
・調査区内の植栽木の樹高を測定し、経年変化を調査。



苗木長の測定(植栽前)



樹高測定(植栽後)



【現況】

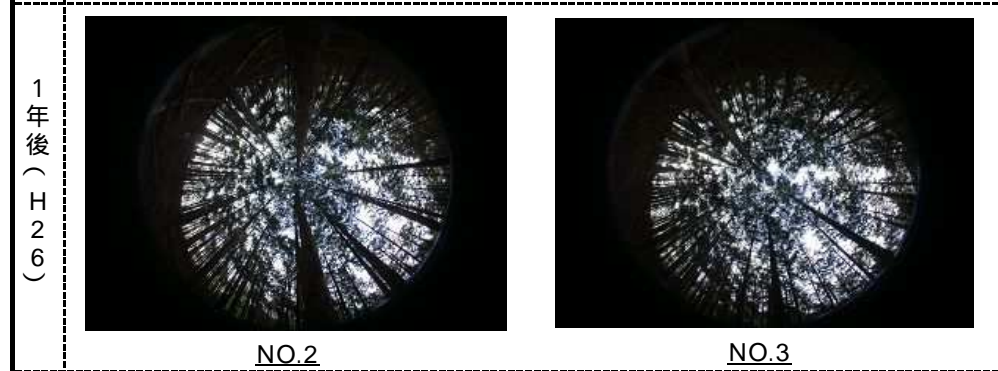
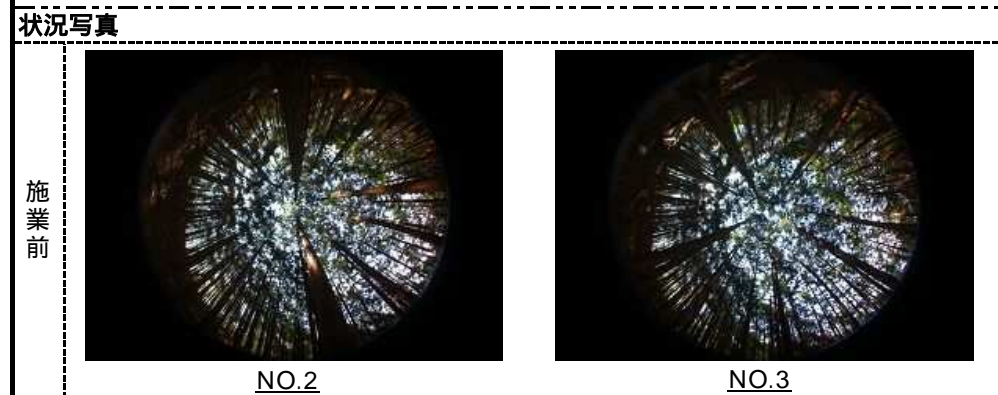
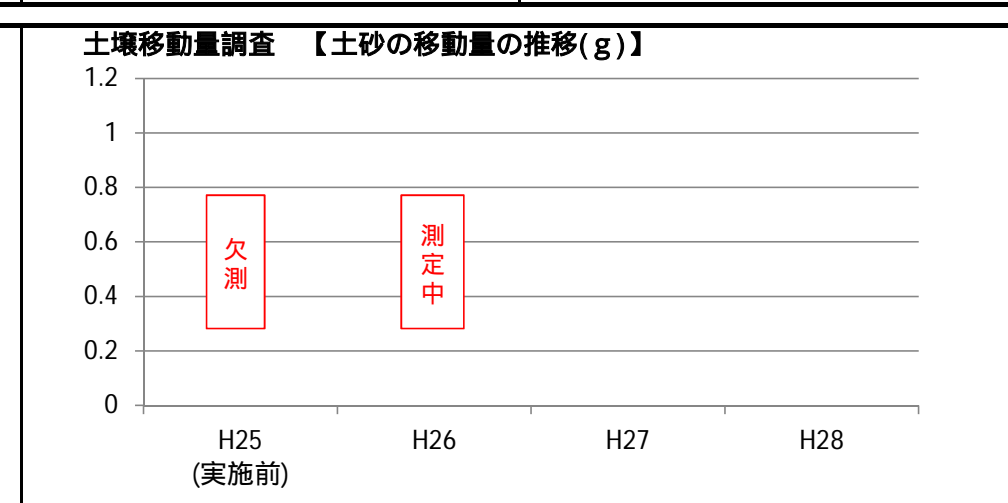
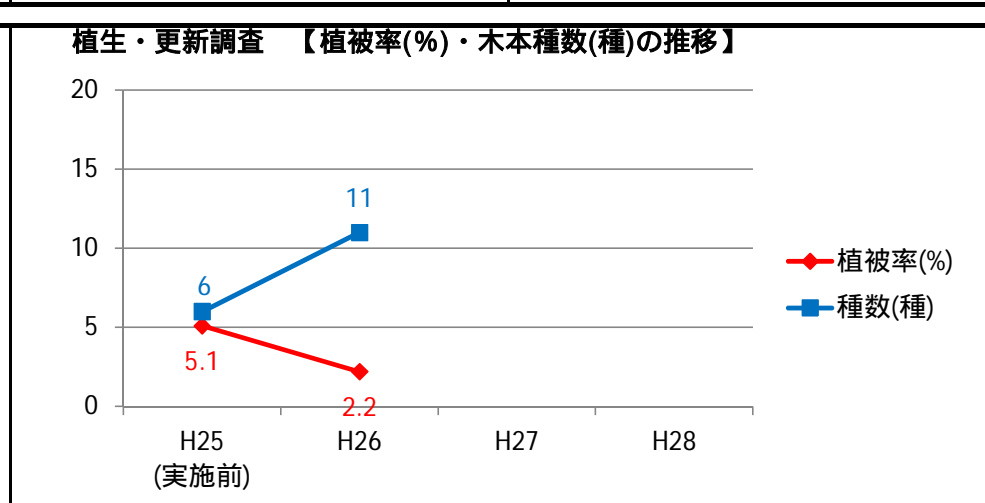
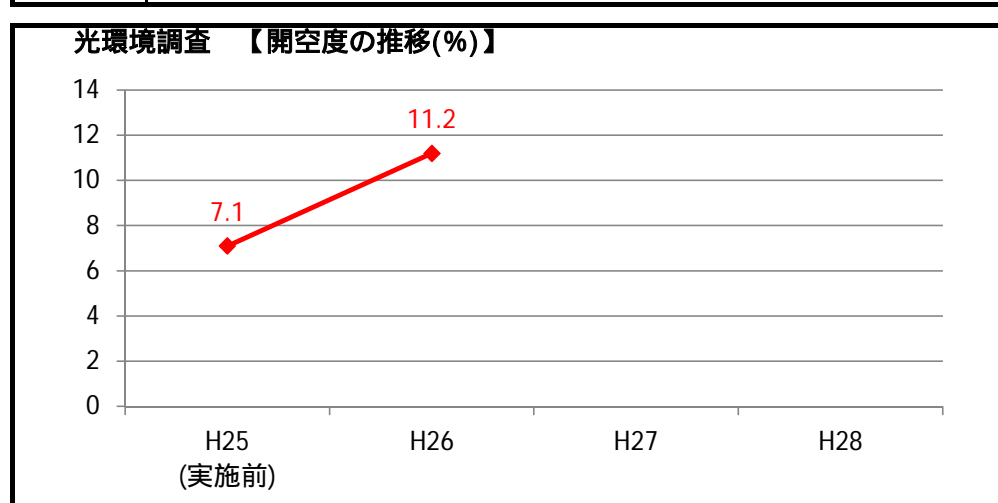
毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	94	50	
平均胸高直径(cm)	18.3	21.7	

- ・間伐の実施により、林内が明るくなった。
- ・地表面の平均傾斜は32°と比較的急勾配。
- ・伐採木が林内に残置されている。
- ・腐植層は薄く、表土が露出しているが、安定している。



【所見】

- ・開空度は改善されたものの、植被率の改善は現時点では見られていない。それは、林地残材による地面の被覆や伐採時の攪乱によるものと思われる。
- ・表土の流出は殆どなく、微量の細土と礫が土砂受け箱に採取された。(土砂受け箱の設置から伐採までの期間が短かったため、伐採前の土砂移動量は欠測)
- ・調査区全体での木本種の発生数は増加していることから、今後の針広混交林化が期待される。



【現況】

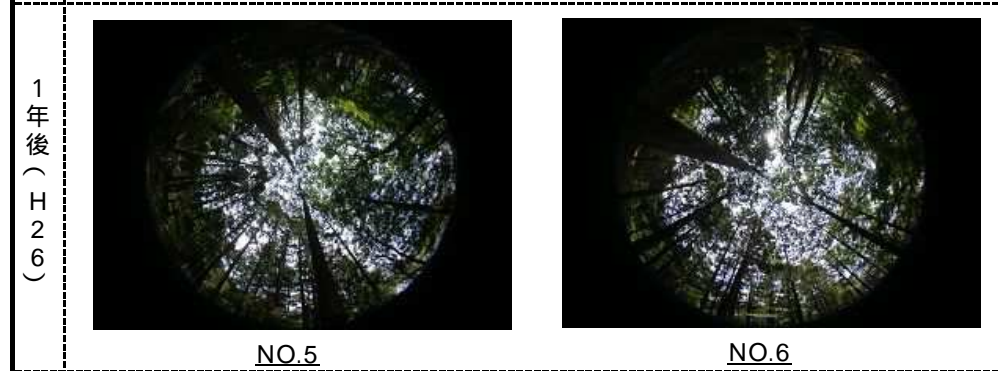
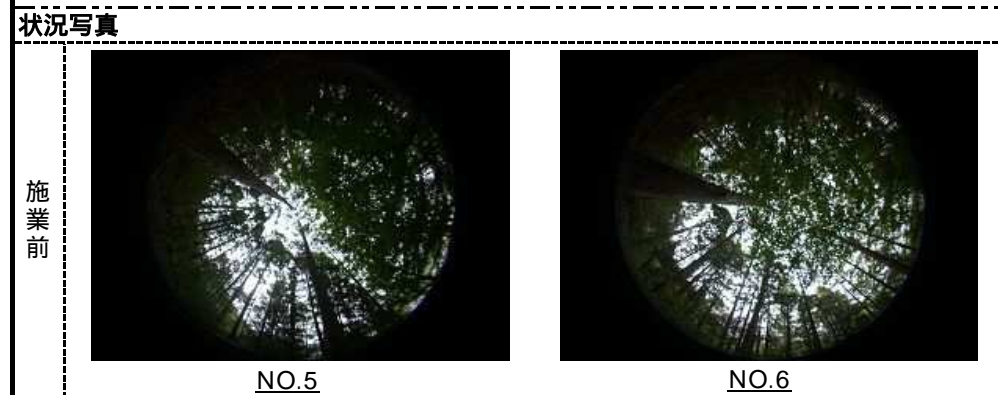
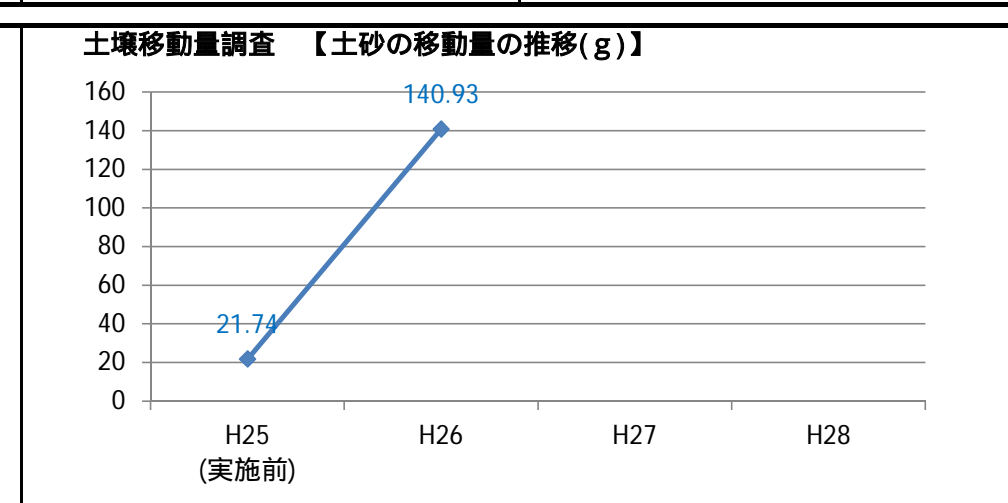
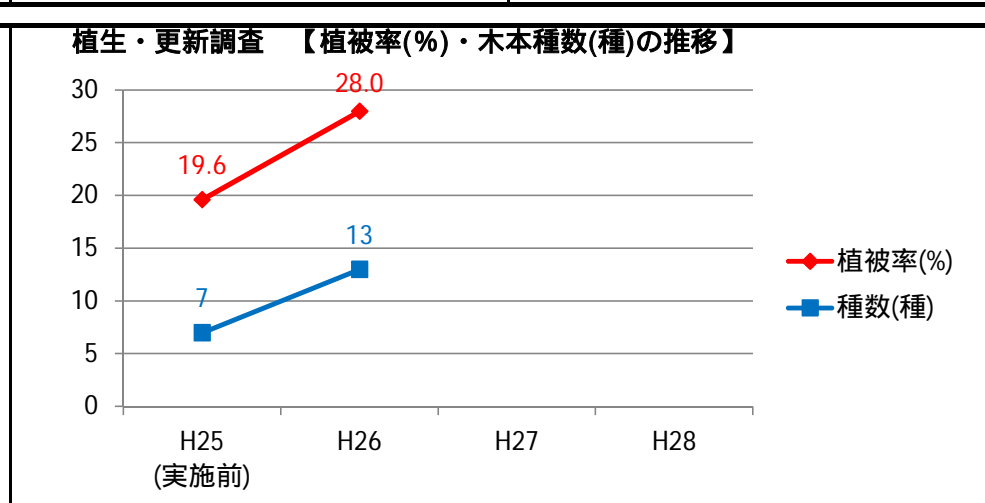
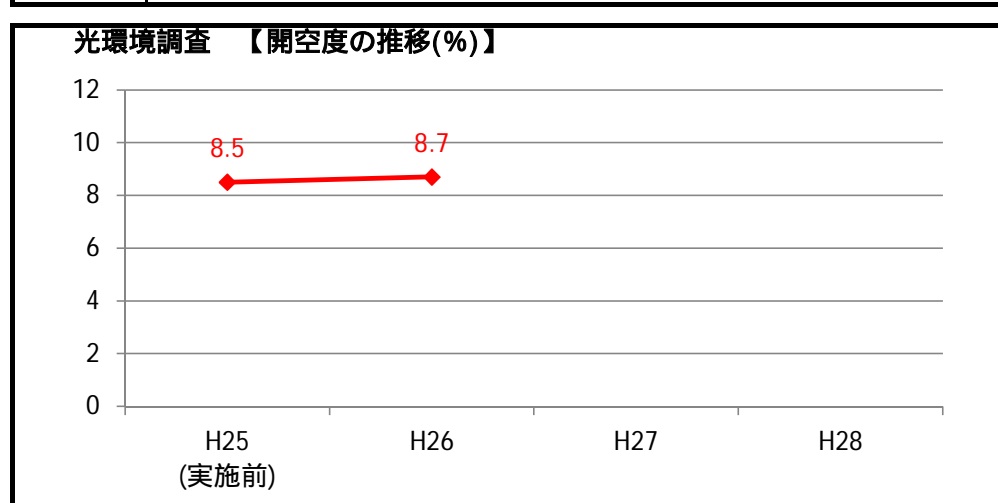
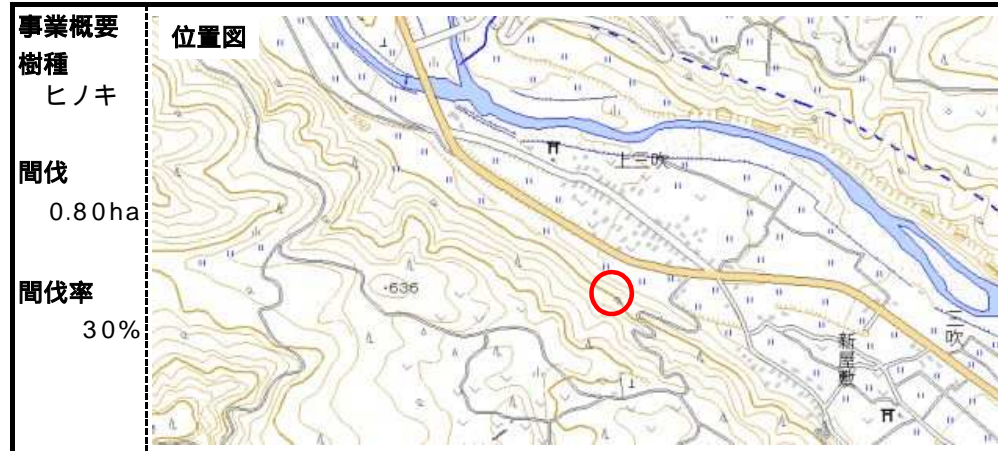
毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	62	44	
平均胸高直径(cm)	20.6	23.3	

- ・間伐の実施により、林内が明るくなった。
- ・地表面の平均傾斜は34°と比較的急勾配。
- ・腐植層は薄く、表土が露出しているが、安定している。
- ・伐採木が林内に残置されている。



【所見】

- ・開空度は改善されたものの、植被率の改善は現時点では見られていない。それは、林地残材による地面の被覆や伐採時の攪乱によるものと思われる。
- ・しかし、調査区全体での木本種の発生数は増加していることから、今後の針広混交林化が期待される。
- ・なお、土砂移動量調査については、林道工事のため未回収。(土砂受け箱の設置から伐採までの期間が短かったため、伐採前の土砂移動量は欠測)



【現況】

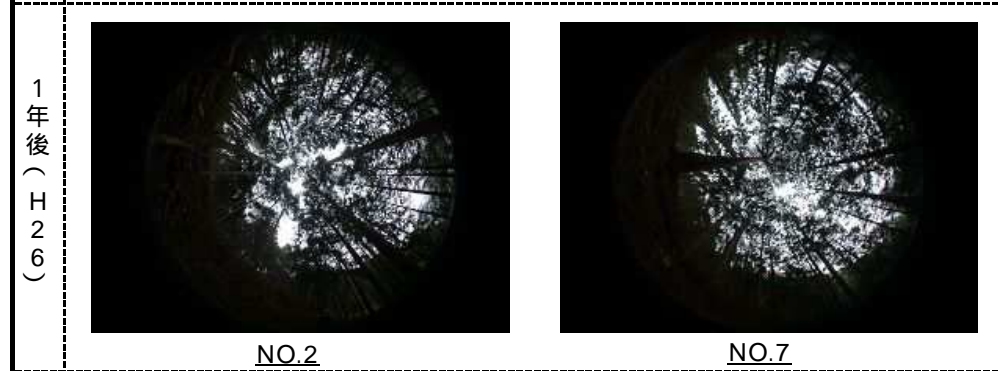
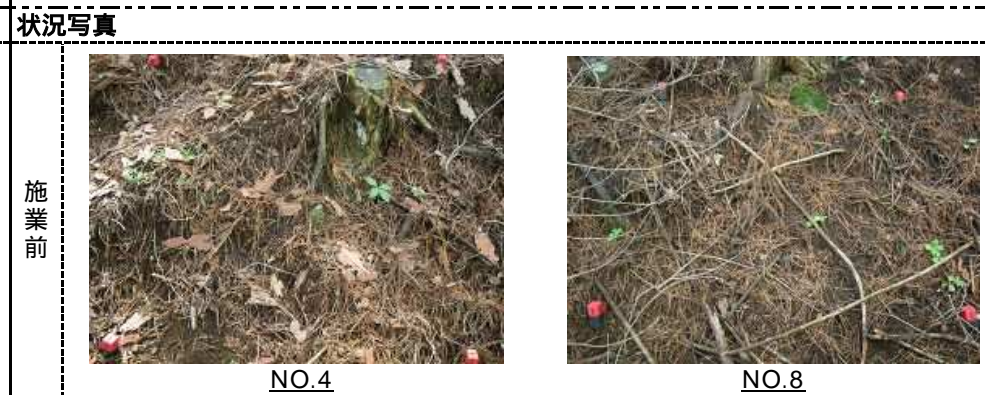
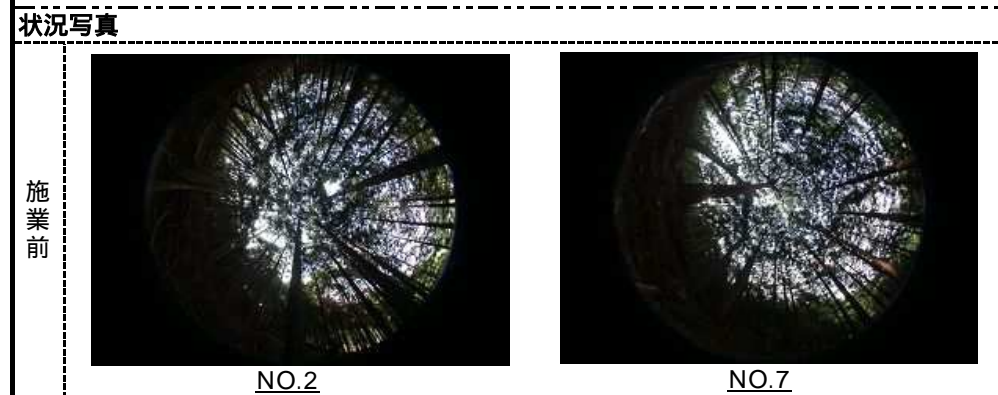
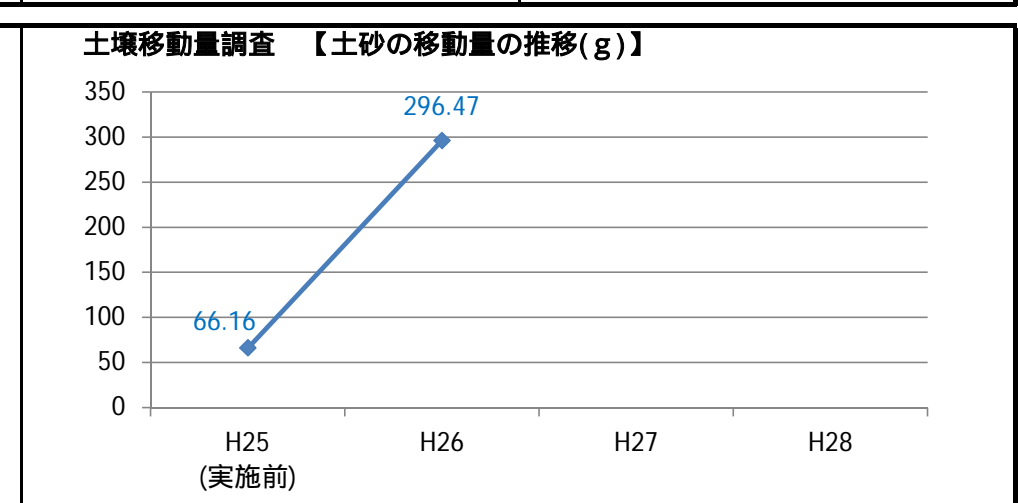
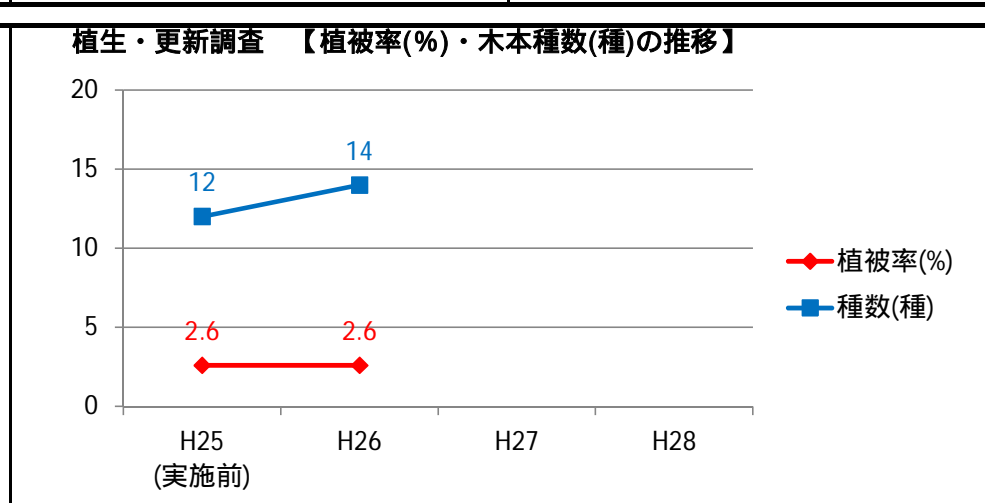
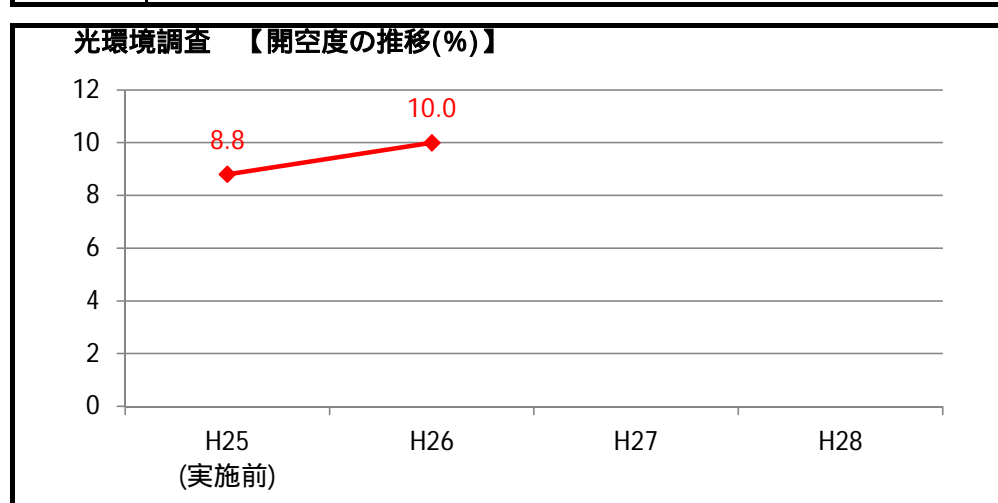
毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	35	29	
平均胸高直径(cm)	26.4	29.6	

- ・間伐の実施により、林内が多少明るくなった。
- ・表土はスギの落葉等の層に厚く覆われている。
- ・施業前から下層植生が比較的多く見られたが、更に増加している。



【所見】

- ・開空度の改善は小さいが、植被率は改善された。
- ・土砂の移動量は増加したが、表土が目立って流出したような形跡は見当たらない。比較的大径の礫分の量が多いことから、伐採作業により生じた浮石が落下したものと思われる。
- ・調査区全体での木本種の発生数も増加していることから、今後の針広混交林化が期待される。



【現況】

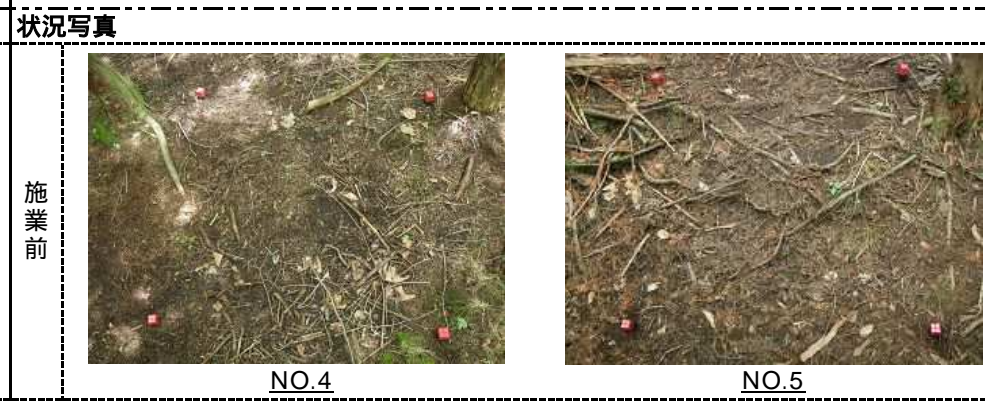
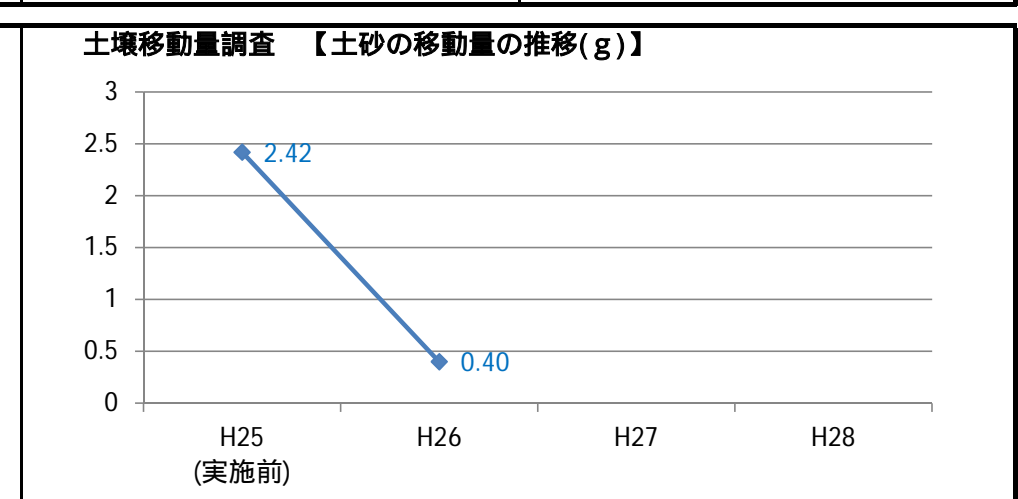
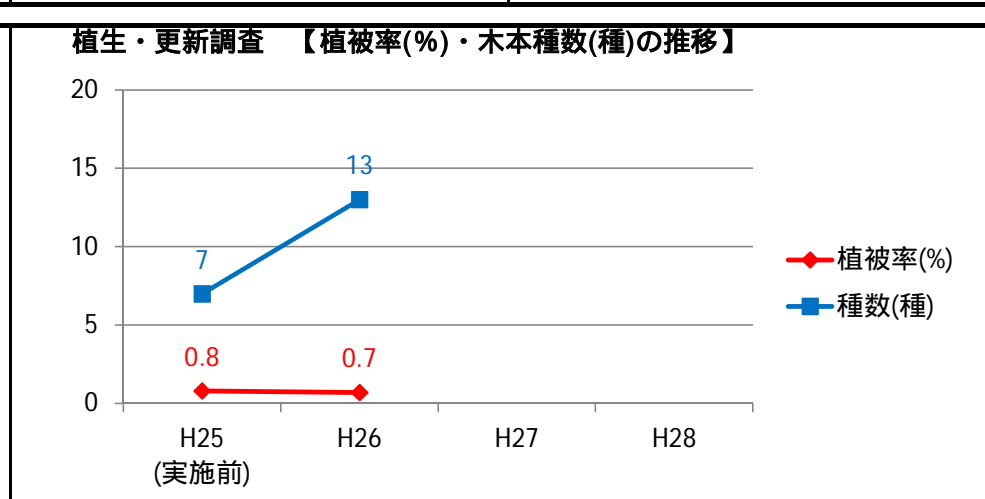
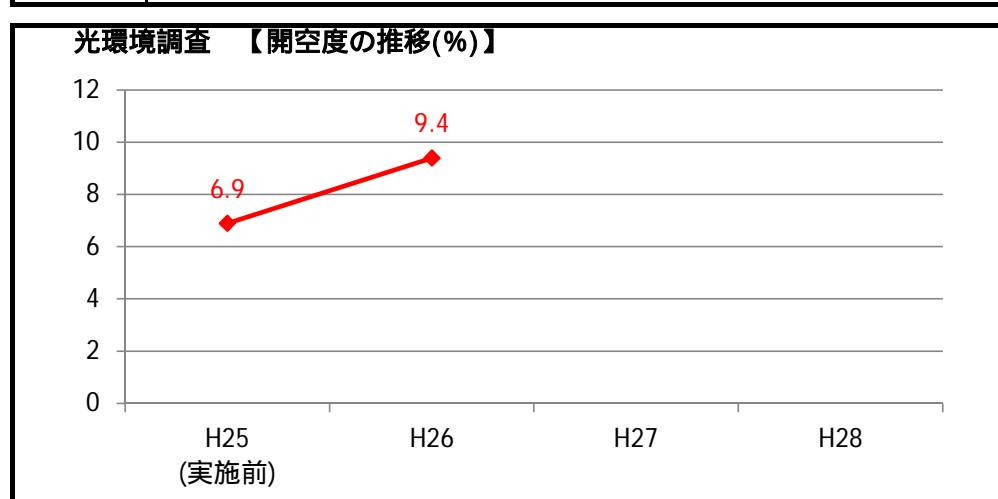
毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	44	37	
平均胸高直径(cm)	24.8	25.9	

- ・間伐の実施により、林内が明るくなった。
- ・地表面の平均傾斜は36°と急勾配で、岩碎に覆われている部分が多い。
- ・腐植層は薄い。



【所見】

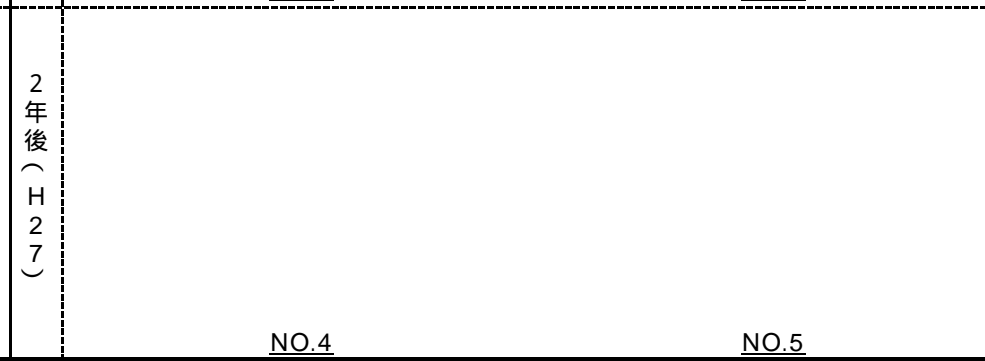
- ・開空度は改善されたものの、植被率の改善は現時点では見られていない。それは、伐採時の攪乱によるものと思われる。
- ・土砂の移動量は増加したが、表土が目立って流出したような形跡は見当たらない。比較的大径の礫分の量が多いことから、伐採作業により生じた浮石が落下したものである。
- ・調査区全体での木本種の発生数は増加していることから、今後の針広混交林化が期待される。



【現況】

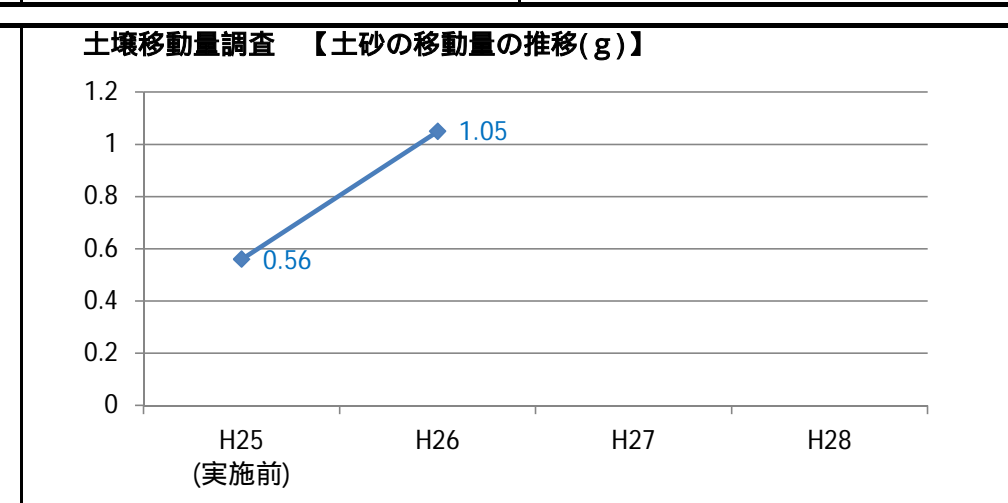
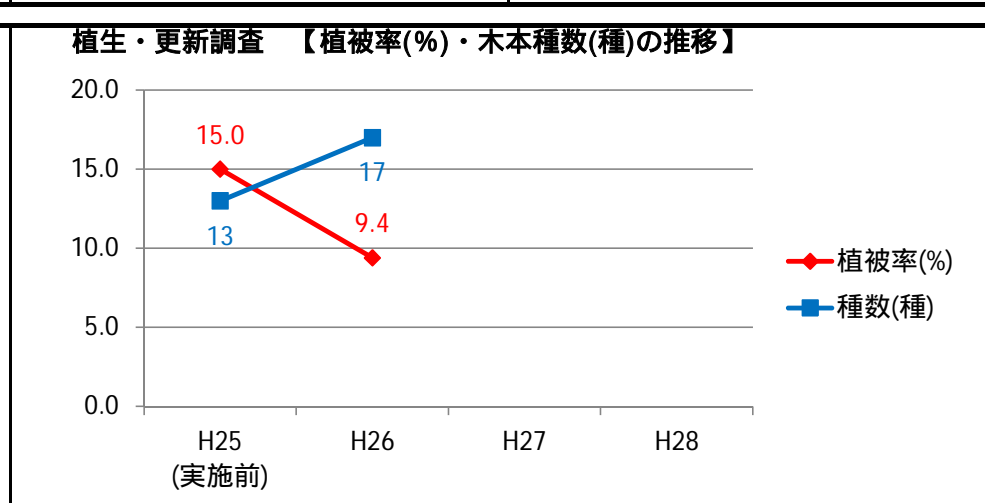
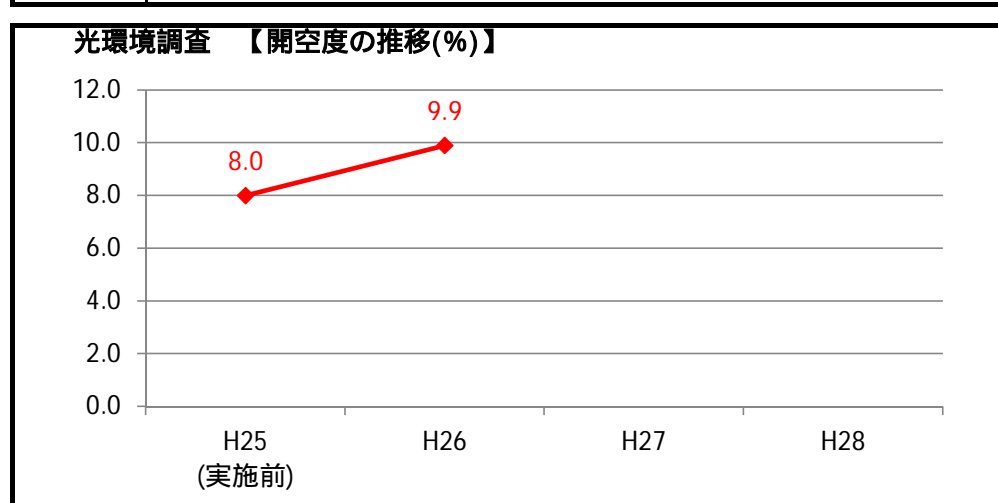
毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	129	83	
平均胸高直径(cm)	10.8	11.9	

・間伐の結果、林内が明るくなった。
・腐植層は薄く、表土が露出しているが、地表面の平均傾斜が9°とほぼ平坦であるため、土壌流出は見られていない。



【所見】

- ・開空度は改善されたものの、植被率の改善は現時点では見られていない。それは、林地残材による地面の被覆や伐採時の攪乱によるものと思われる。
- ・緩傾斜地であり、表土浸食の形跡は見当たらない。土砂の移動量も殆どなく、安定している。
- ・調査区全体での木本種の発生数は増加していることから、今後の針広混交林化が期待される。



【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数 (本)	57	26	
平均胸高直径 (cm)	21.3	25.1	

- ・間伐の結果、林内がやや明るくなった。
- ・地表面の平均傾斜は25°と、比較的緩勾配。
- ・搬出後の残材が林内に置かれた状態になっている。
- ・アカマツの落葉等に表土が覆われている。



【所見】

- ・開空度はやや改善されたものの、植被率の改善は現時点では見られていない。それは、林地残材による地面の被覆や伐採時の攪乱によるものと思われる。
- ・土砂の流出の形跡は見られず、採取量も微量であった。
- ・調査区全体での木本種の発生数は増加していることから、今後の針広混交林化が期待される。



【施業前1】



【施業後1】

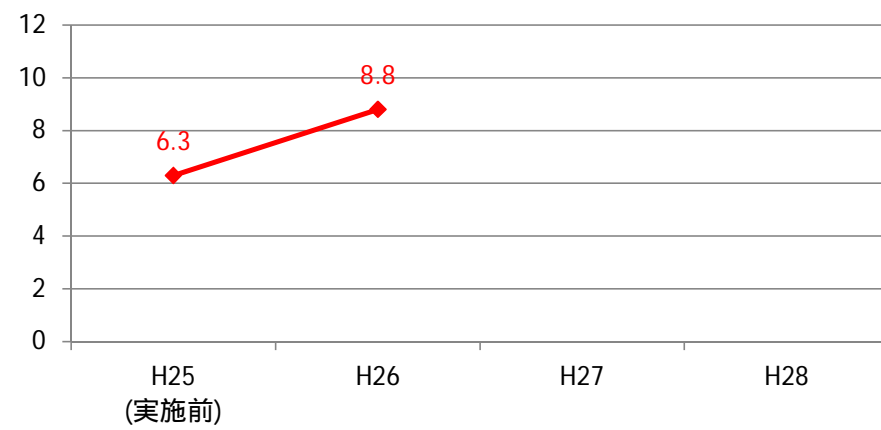


【施業前2】

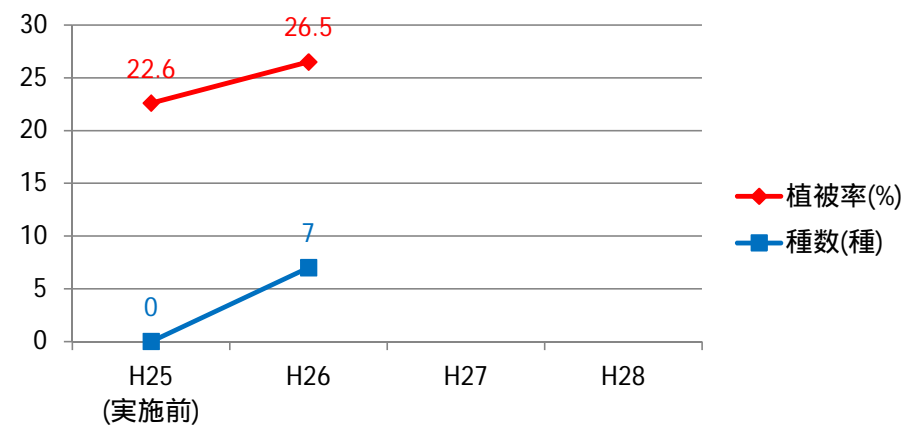


【施業後2】

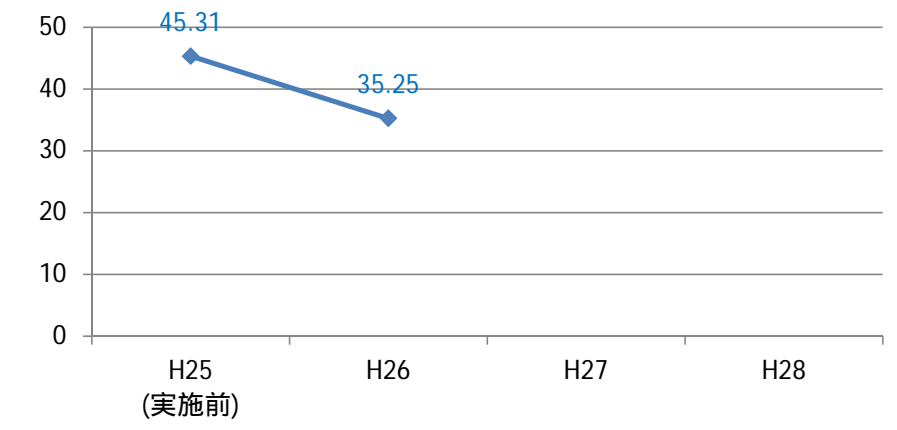
光環境調査 【開空度の推移(%)】



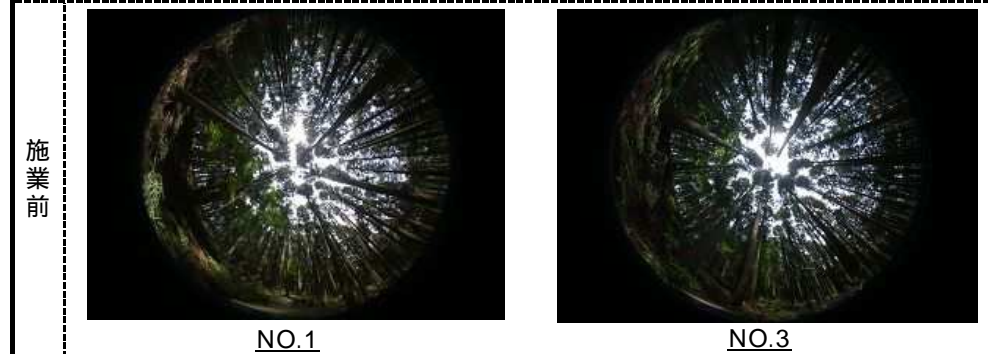
植生・更新調査 【植被率(%)・木本種数(種)の推移】



土砂移動量調査 【土砂の移動量の推移(g)】



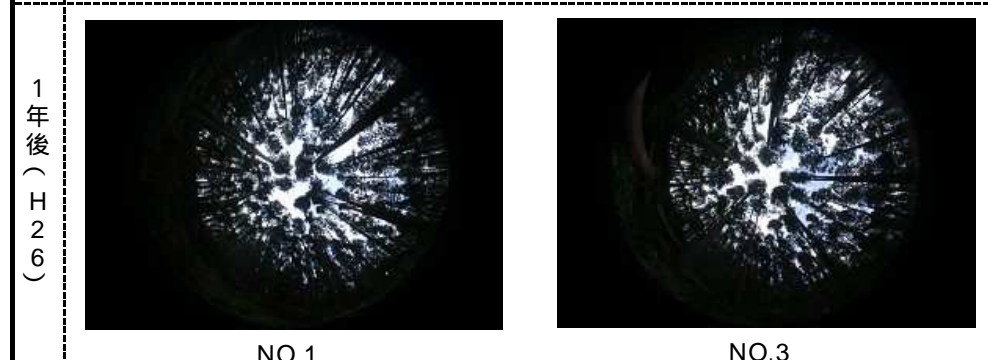
状況写真



状況写真



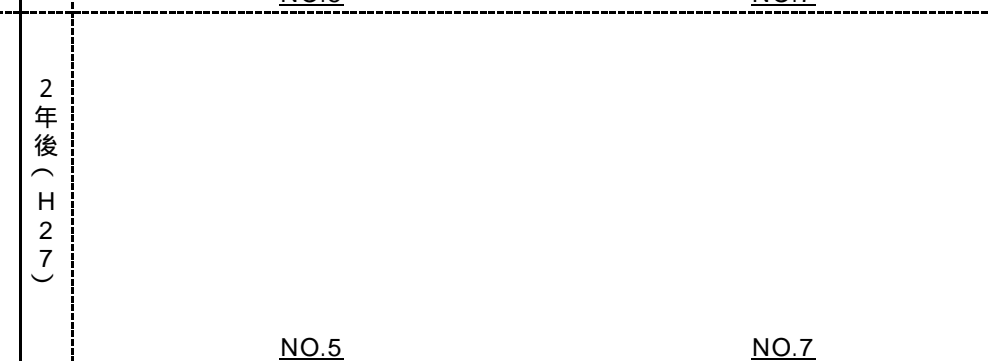
状況写真



【現況】

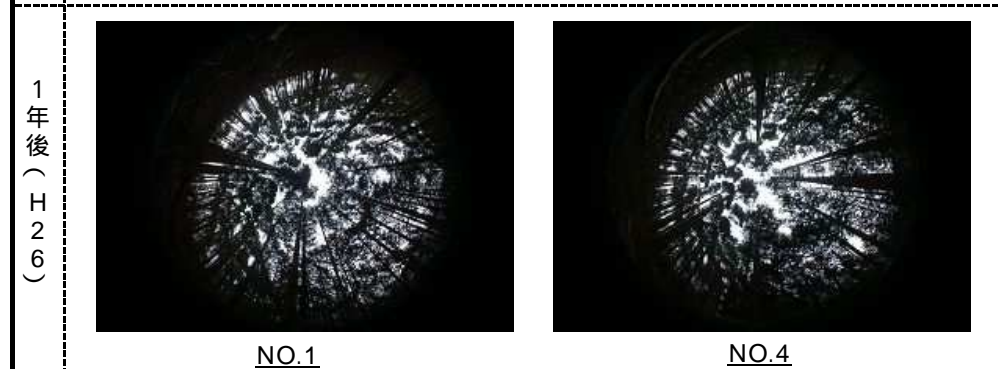
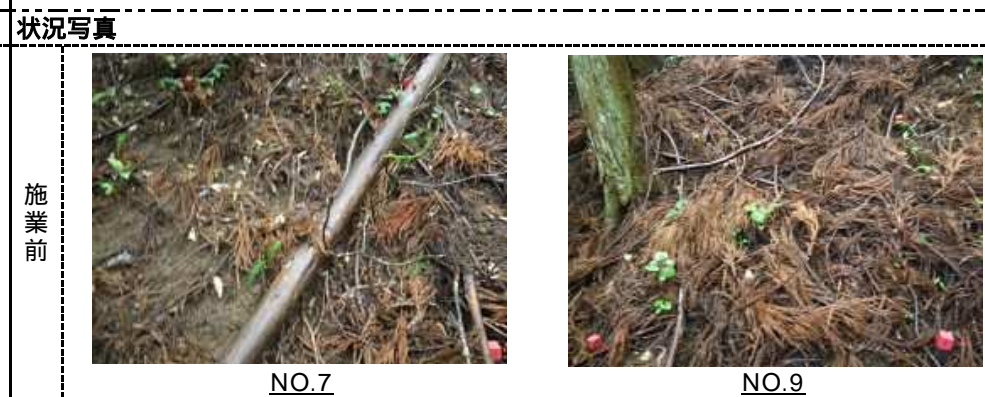
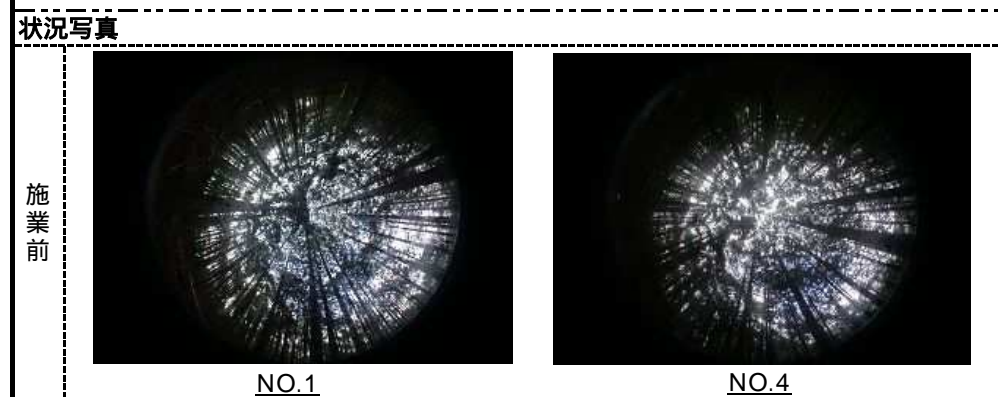
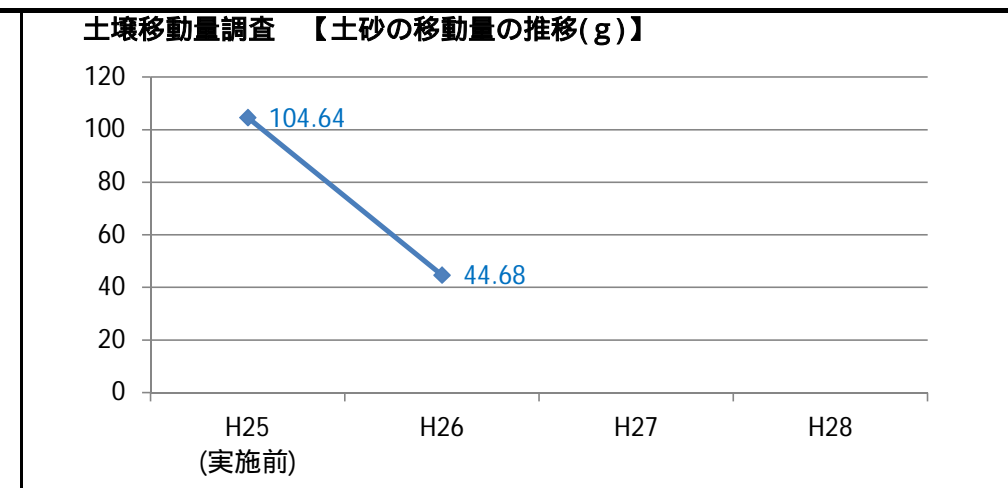
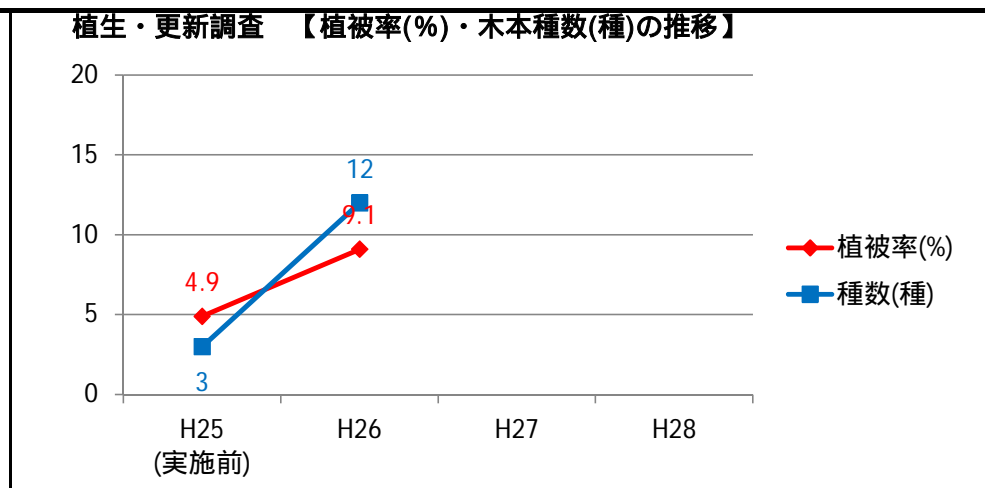
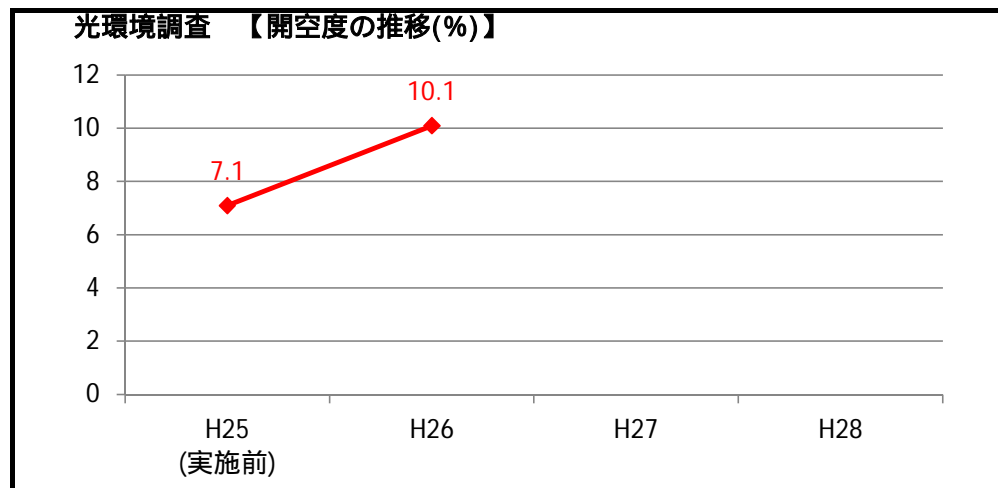
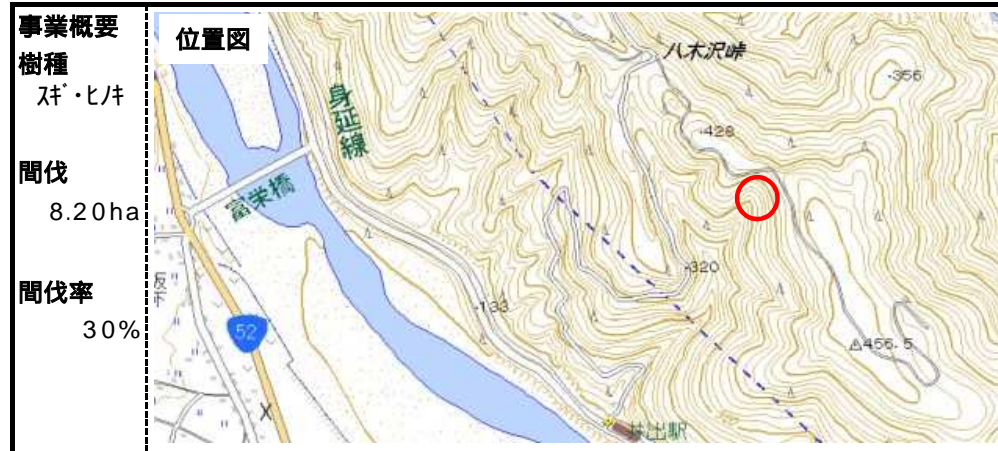
毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	38	26	
平均胸高直径(cm)	26.5	31.2	

・間伐の実施により、林内が明るくなった。
・地表面の平均傾斜は31°と比較的急勾配であるが、スギの落葉やシダ類等に覆われており、安定している。



【所見】

- ・開空度、植被率ともに改善された。
- ・土砂移動量調査では、少量の土砂が採取されたが、表土に浸食の痕跡は見られず、安定している。
- ・調査区全体での木本種の発生数も増加しており、今後の針広混交林化が期待される。



【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	58	29	
平均胸高直径(cm)	25.0	29.9	

・間伐の結果、林内が明るくなった。
・地表面の傾斜は34°と比較的急勾配であるが、スギの落葉が堆積していることもあり、現時点では洗掘等の土砂流出の痕跡は見られない。



【所見】

- ・開空度、植被率ともに改善された。
- ・土砂移動量調査では、少量の土砂が採取されたが、地表面に浸食の痕跡等は見られず、安定している。
- ・調査区全体での木本種の発生数も増加しており、今後の針広混交林化が期待される。



【施業前1】



【施業後1】

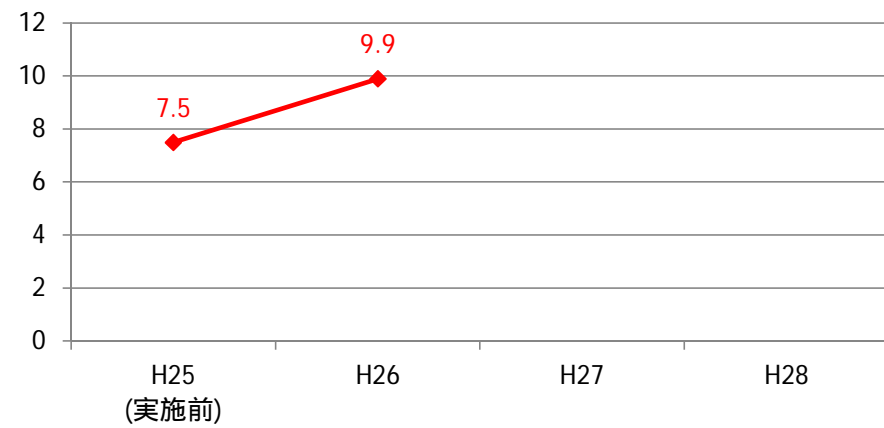


【施業前2】

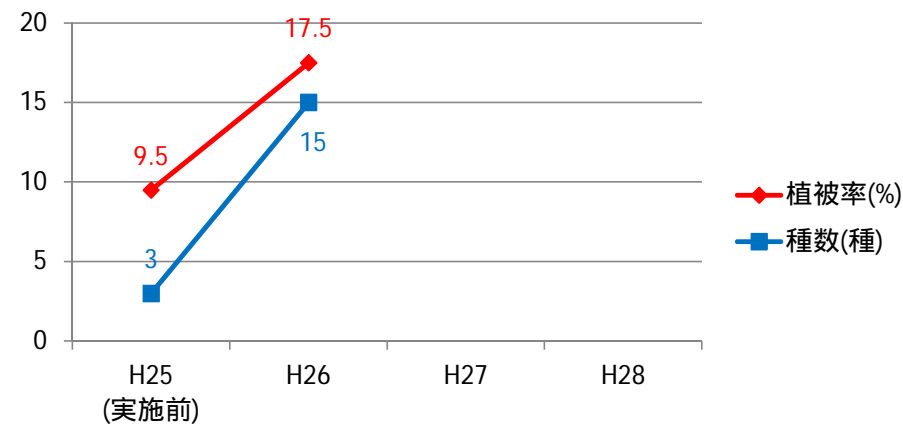


【施業後2】

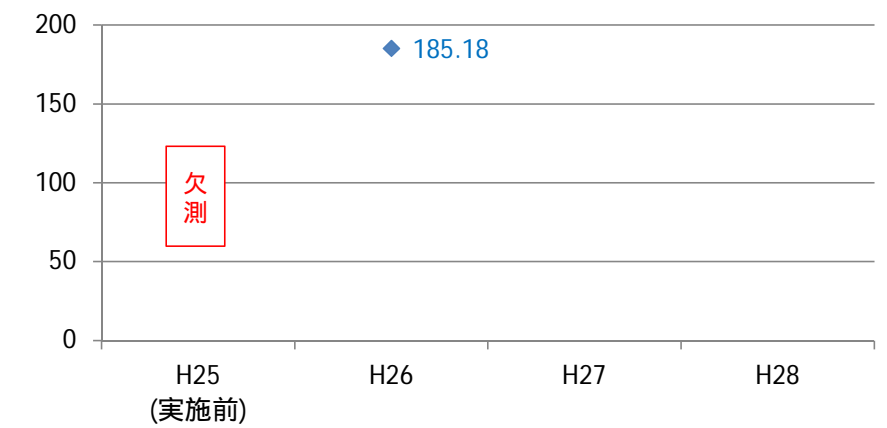
光環境調査 【開空度の推移(%)】



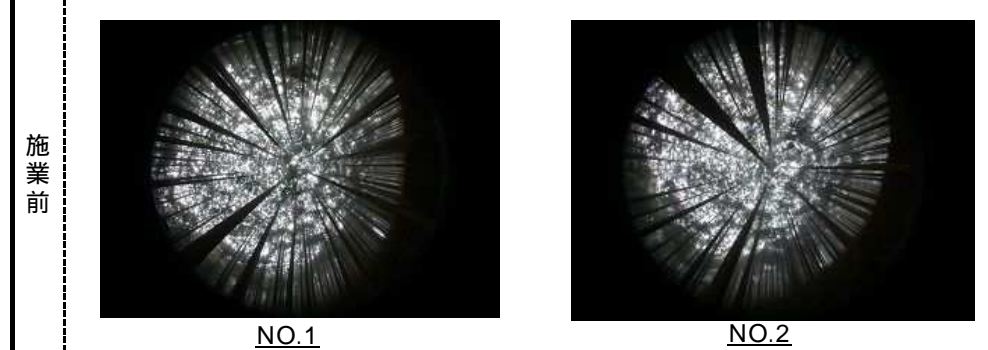
植生・更新調査 【植被率(%)・木本種数(種)の推移】



土砂移動量調査 【土砂の移動量の推移(g)】



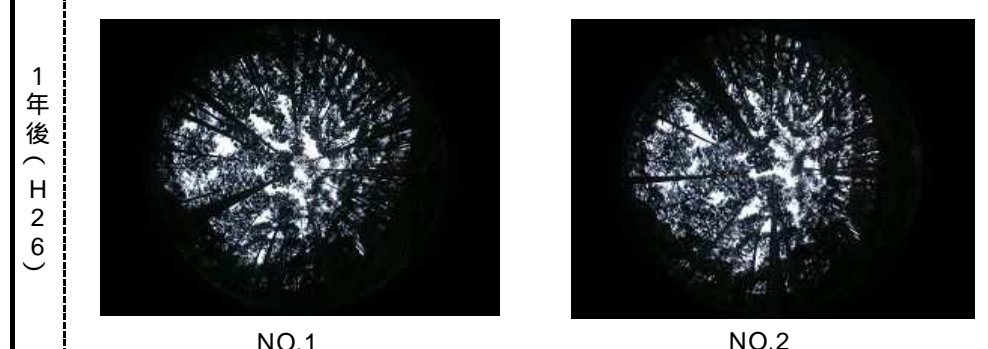
状況写真



状況写真



状況写真



【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	65	34	
平均胸高直径(cm)	22.6	25.6	

- ・間伐の実施により、林内が明るくなった。
- ・地表面の平均傾斜は33°と比較的急勾配。
- ・部分的にスギの落葉等に覆われており、林床部は安定している。



【所見】

- ・開空度、植被率ともに改善された。
- ・枝葉などのリターと共に、比較的まとまった量の土砂が採取されたが、表土が浸食を受けた痕跡は見られず、安定している。(土砂受け箱の設置から伐採までの期間が短かったため、伐採前の土砂移動量は欠測)
- ・調査区全体での木本種の発生数も増加しており、今後の針広混交林化が期待される。



【施業前1】



【施業後1】

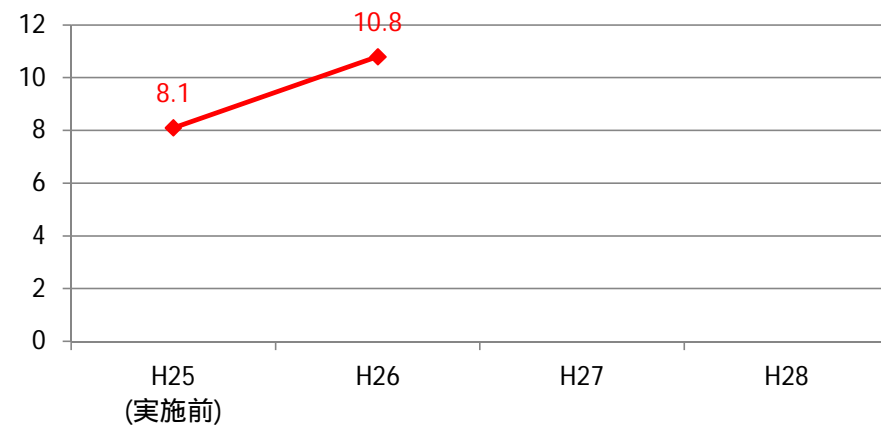


【施業前2】

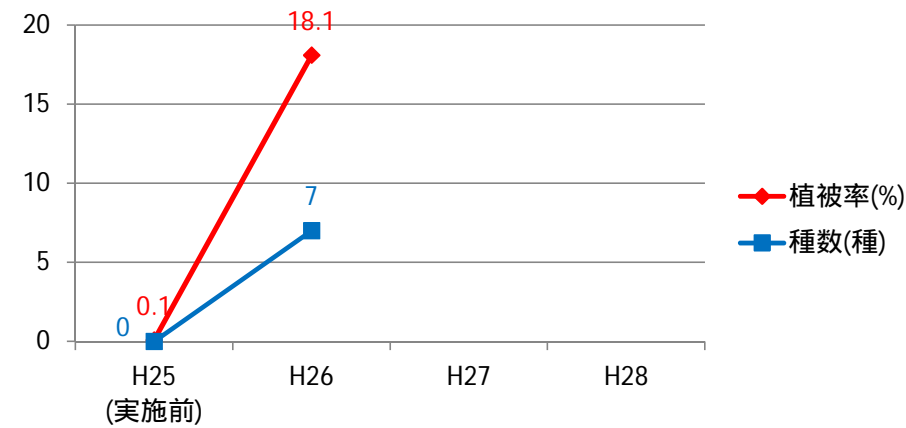


【施業後2】

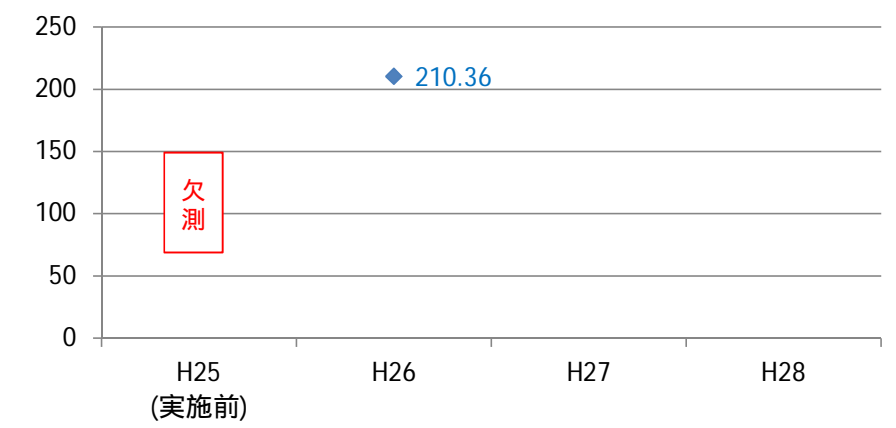
光環境調査 【開空度の推移(%)】



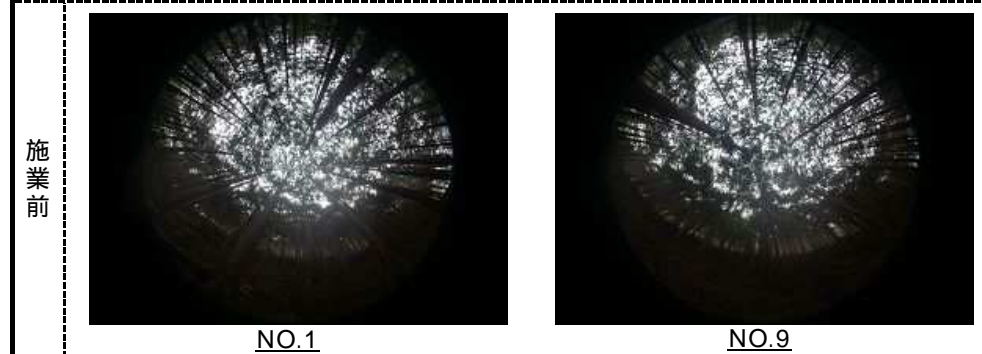
植生・更新調査 【植被率(%)・木本種数(種)の推移】



土砂移動量調査 【土砂の移動量の推移(g)】



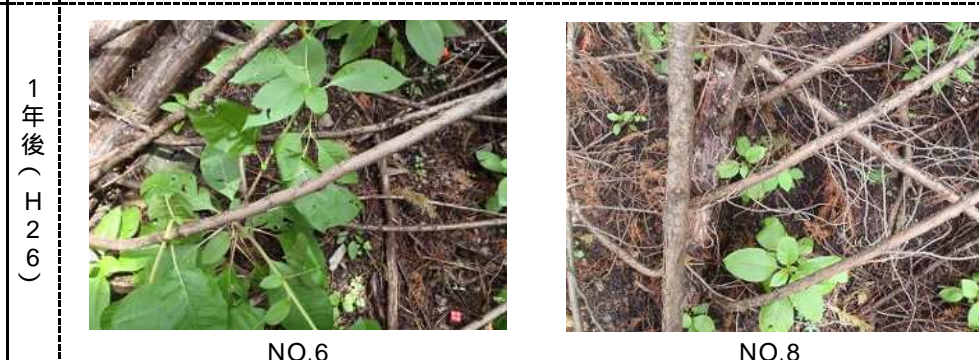
状況写真



状況写真



状況写真



【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	63	39	
平均胸高直径(cm)	21.5	23.1	

- ・間伐の実施により、林内が明るくなった。
- ・地表面の傾斜は35°と急勾配。
- ・伐採木が林内に残置されている。
- ・腐植層は薄く、表土が露出しているが、安定している。



【所見】

- ・開空度、植被率ともに改善された。
- ・枝葉などのリターと共に小径の礫を中心に、比較的まとまった量の土砂が採取されたが、表土が浸食を受けた痕跡は見られず、安定している。(土砂受け箱の設置から伐採までの期間が短かったため、伐採前の土砂移動量は欠測)
- ・調査区全体で木本種の発生数も増加しており、今後の針広混交林化が期待される。



【施業前1】



【施業後1】

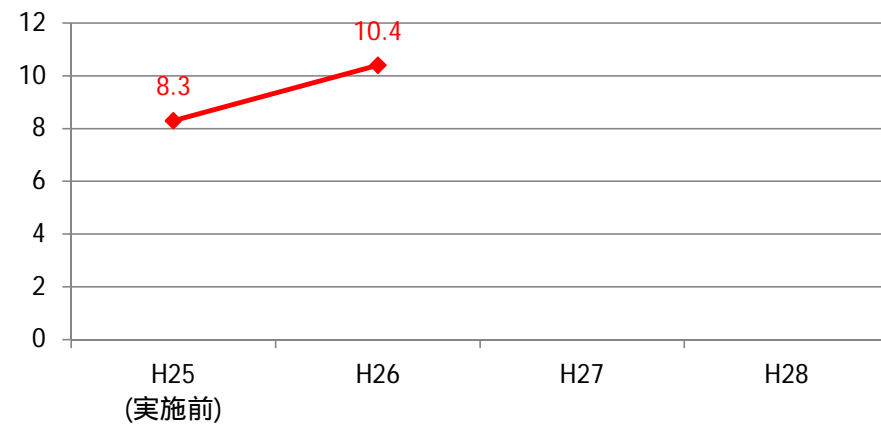


【施業前2】

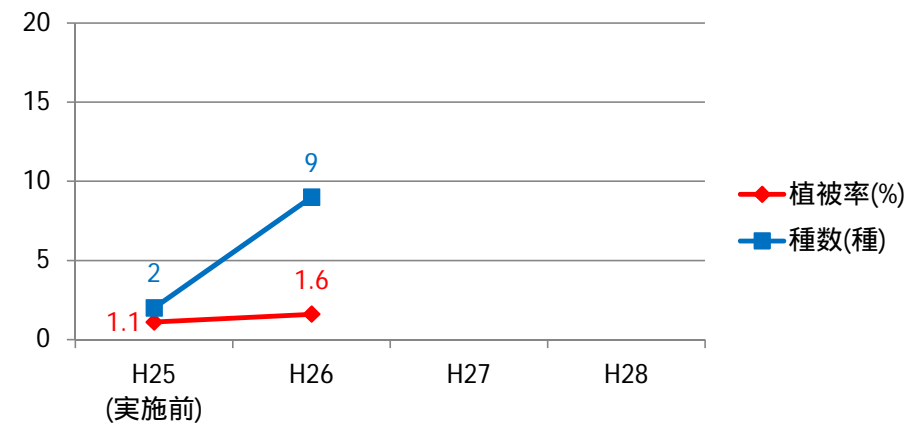


【施業後2】

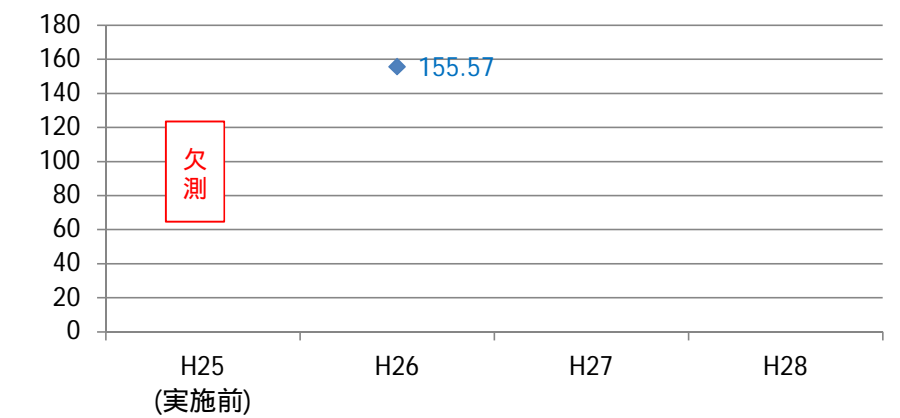
光環境調査 【開空度の推移(%)】



植生・更新調査 【植被率(%)・木本種数(種)の推移】



土砂移動量調査 【土砂の移動量の推移(g)】



状況写真

施業前



NO.2



NO.3

状況写真

施業前



NO.4



NO.9

状況写真

土砂受け箱設置状況



1年後 (H26)



NO.2



NO.3

1年後 (H26)



NO.4



NO.9

【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	82	54	
平均胸高直径(cm)	18.5	19.7	

- ・間伐の実施により、林内が明るくなった。
- ・地表面の平均傾斜は37°と急勾配。
- ・伐採木が林内に集積されている。
- ・腐植層は薄く、表土が露出しているが、安定している。

2年後 (H27)



NO.2



NO.3

2年後 (H27)



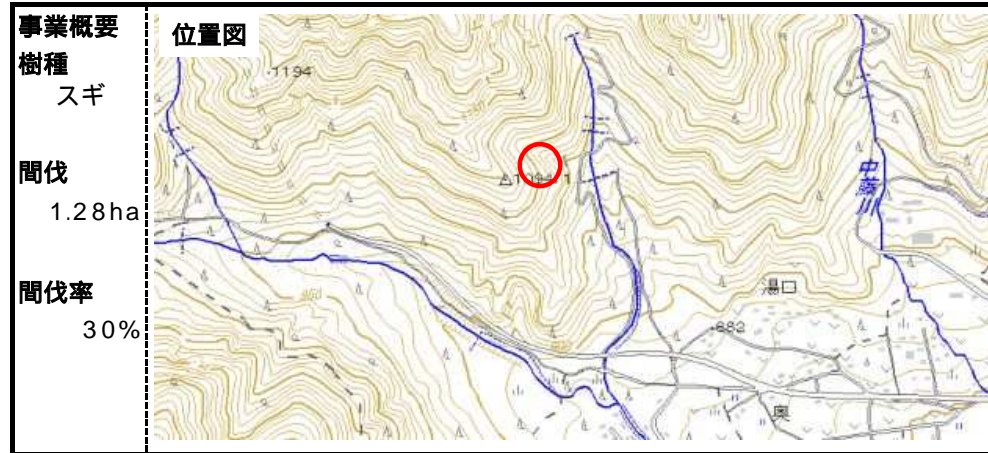
NO.4



NO.9

【所見】

- ・開空度は改善、植被率もわずかながら改善された。
- ・小径の礫を中心に、比較的まとまった量の土砂が採取されたが、表土が浸食を受けた痕跡は見られず、安定している。(土砂受け箱の設置から伐採までに期間が短かったため、伐採前の土砂移動量は欠測)
- ・調査区全体での木本種の発生数も増加しており、今後の針広混交林化が期待される。



【施業前1】



【施業後1】

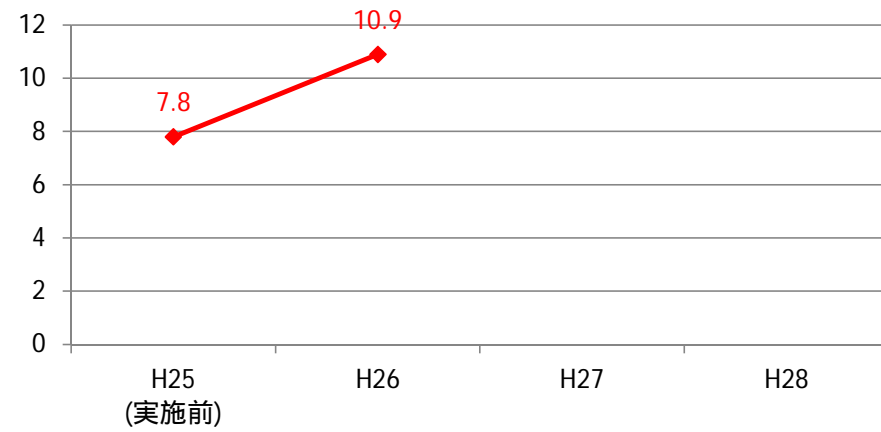


【施業前2】

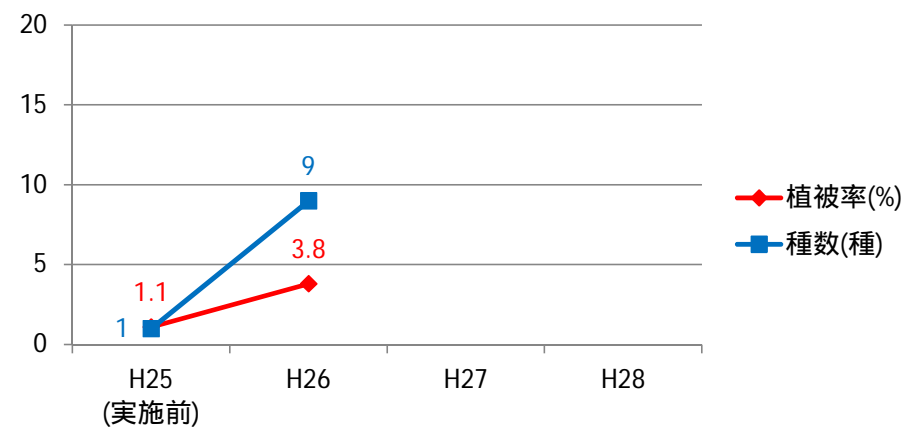


【施業後2】

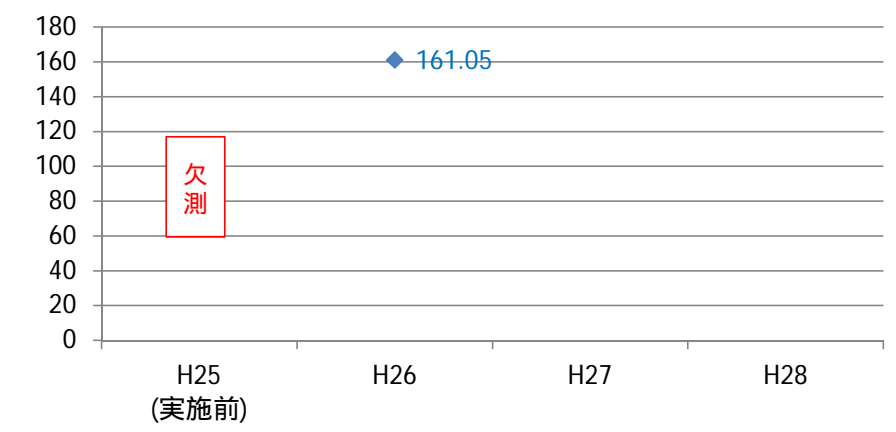
光環境調査 【開空度の推移(%)】



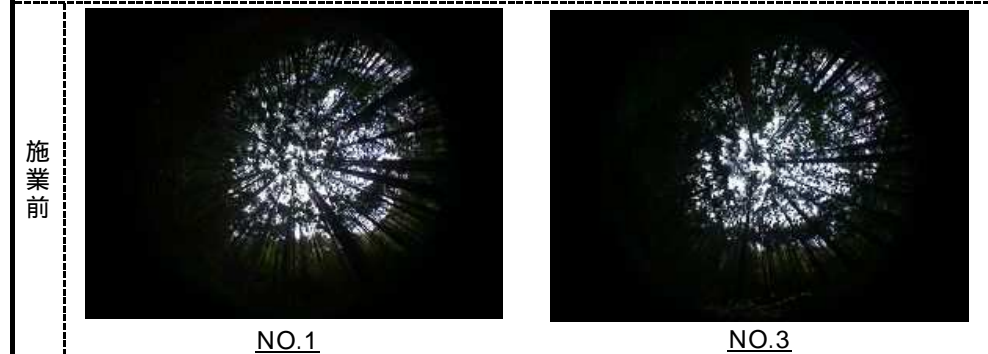
植生・更新調査 【植被率(%)・木本種数(種)の推移】



土砂移動量調査 【土砂の移動量の推移(g)】



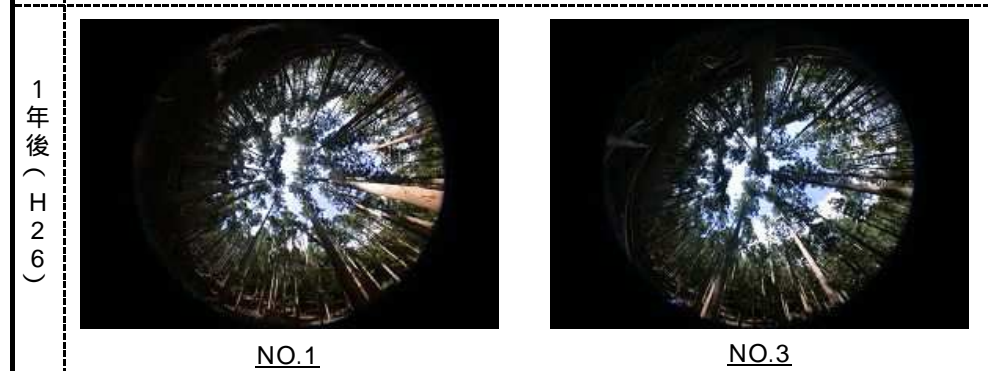
状況写真



状況写真



状況写真



【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	50	27	
平均胸高直径(cm)	24.4	30.7	

・間伐の結果、林内が明るくなった。
 ・地表面の傾斜は32°と比較的急勾配。
 ・搬出後の残材が林内に置かれた状態になっている。
 ・スギの落葉が厚く堆積していることから、現時点では洗掘等土砂流出の痕跡は見られない。



【所見】

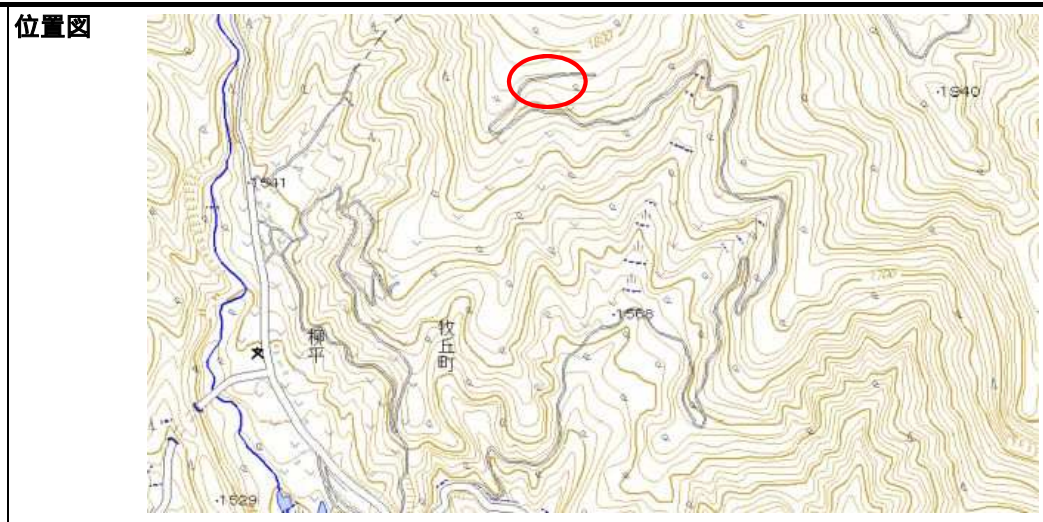
・開空度、植被率ともに改善された。
 ・小径の礫を中心に、比較的まとまった量の土砂が採取されたが、表土が浸食を受けた痕跡は見られず、安定している。(土砂受け箱の設置から伐採までの期間が短かったため、伐採前の土砂移動量は欠測)
 ・調査区全体での木本種の発生数も増加しており、今後の針広混交林化が期待される。

広葉樹の森づくり推進事業 モニタリング調査書

調査箇所 山梨市牧丘町山口山 地内

事業概要

実施年度	H24年度
樹種	ミズナラ
植栽面積	1.84ha
植栽本数	2,700本
〔標準地(10m×10m)内〕	
植栽本数	15本
活着本数	14本
食害本数	0本
破損ネット	0枚

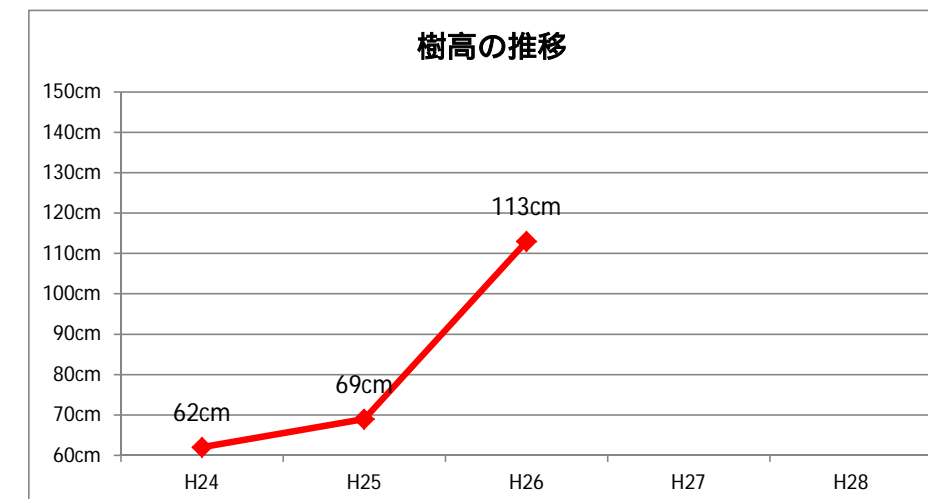
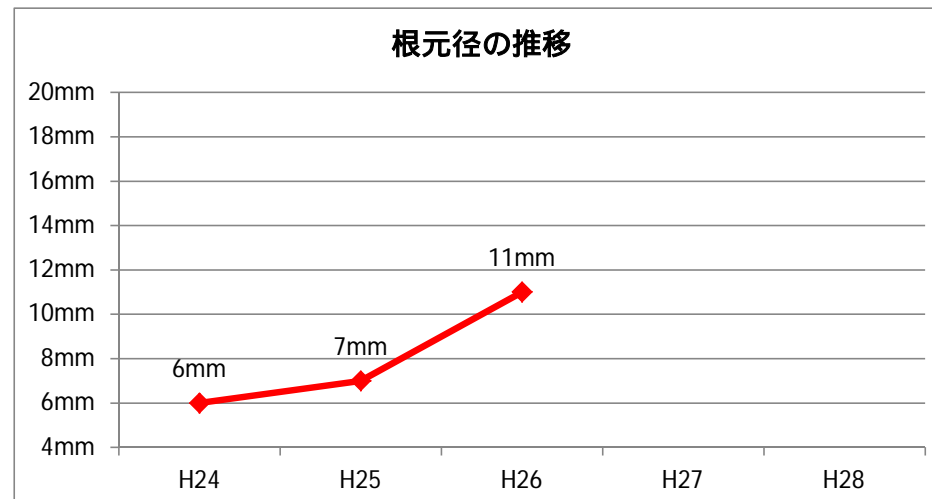
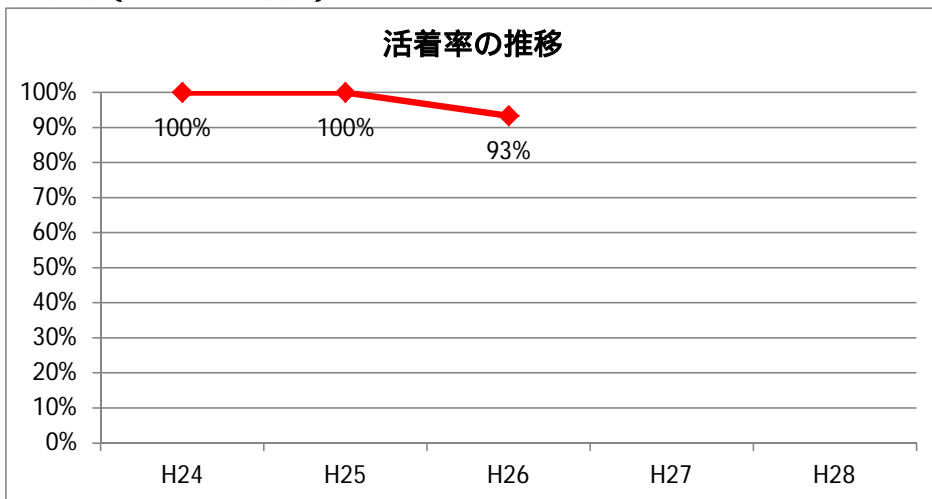


【施業前】



【施業後】

調査結果（標準地内の状況）



【平成25年度】



【調査結果】
 ・調査区内の全個体が展葉し、根元径、樹高ともに良好な生育状況を呈している。
 ・食害防止ネットにも破損は見られない。

【所見】
 ・順調な生育が伺われる。今後数年間は下刈りを行い、引き続き生育状況や獣害の有無等に注視していく。

【平成26年度】



【調査結果】
 ・枯損木が1本発見されたため、今後適期に補植を行う。
 ・食害防止ネットは全数が健在。
 ・生育状況は、個体間で差異が認められるが、概ね良好である。

【所見】
 ・順調に生育している。下刈り期を中心に点検を行い、獣害の有無等を注視していく。

【平成27年度】

【調査結果】

【所見】

広葉樹の森づくり推進事業 モニタリング調査

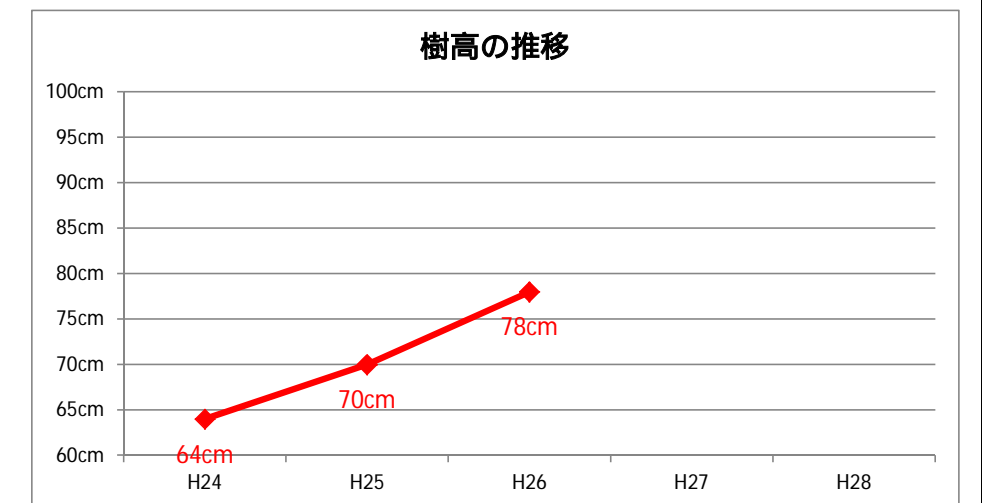
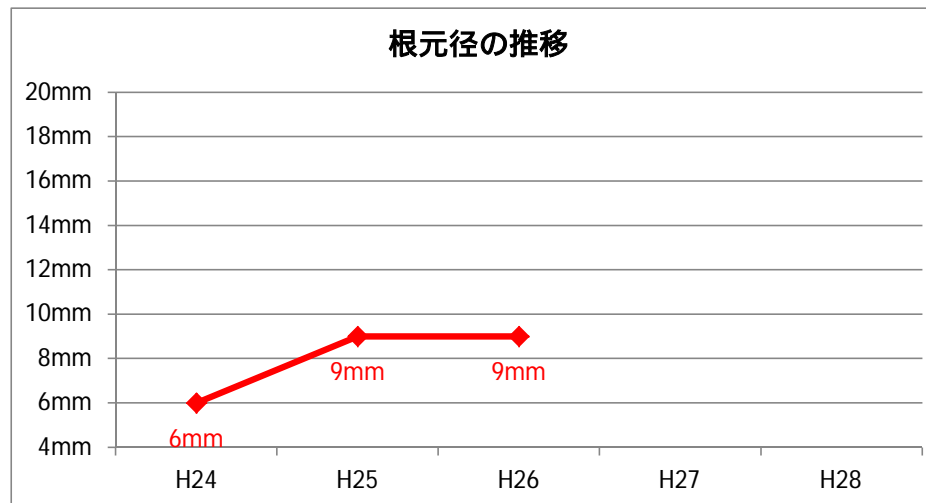
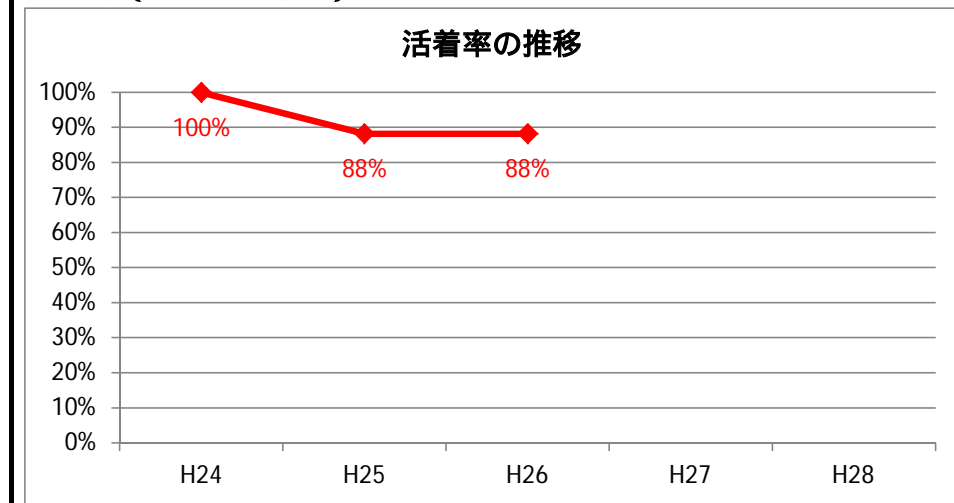
調査箇所 南巨摩郡富士川町平林奥仙重

事業概要

実施年度	H24年度
樹種	クリ・ミズナラ
植栽面積	1.84ha
植栽本数	3,350本
〔標準地(10m×10m)内〕	
植栽本数	17本
活着本数	15本
食害本数	0本
破損ネット	0枚



調査結果（標準地内の状況）



【平成25年度】



【調査結果】

- 調査区内の2個体に展葉が見られないが、全体的に根元径、樹高ともに良好な生育状況を呈している。
- 食害防止ネットには破損は見られない。

【所見】

- ほぼ順調な生育が伺われる。今後数年間は下刈りを行い、引き続き生育状況や獣害の有無等に注視していく。
- 未展葉の2個体については経過観察を行う。

【平成26年度】



【調査結果】

- 昨年度、展葉が見られなかった2個体が枯損し、2個体に先折れが見られた。
- 食害防止ネットには破損は見られない。
- 調査区内で食害防止を設置していないミズナラの実生個体は食害を受けていた。

【所見】

- 2個体に先折れが見られたが、概ね順調に生育している。今後も下刈り期を中心に生育調査を継続する。
- 食害防止ネットの未設置個体が食害を受けていることから、ネットが効果的に機能していることが伺える。

【平成27年度】

【調査結果】

【所見】

里山再生事業に関するアンケート調査結果

里山再生事業実施後の地域住民の満足度を調査する目的で実施したアンケート調査の結果を報告します。

1 調査の概要

(1) 調査対象

平成25年度に里山再生事業で整備した里山の周辺地区住民(552世帯)

(2) 回答数

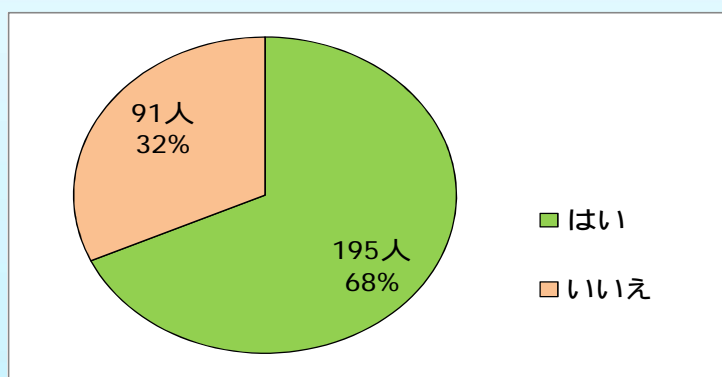
286世帯(回答率: 51.8%)

(3) 調査時期

平成26年11月~12月

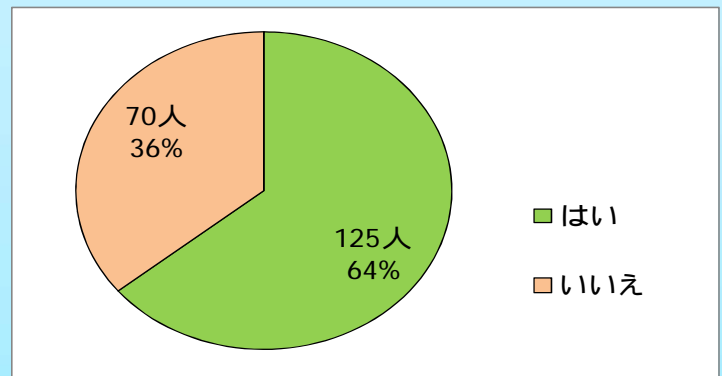
2 調査項目及び調査結果

問1 地域の里山が整備されたことを知っていますか。



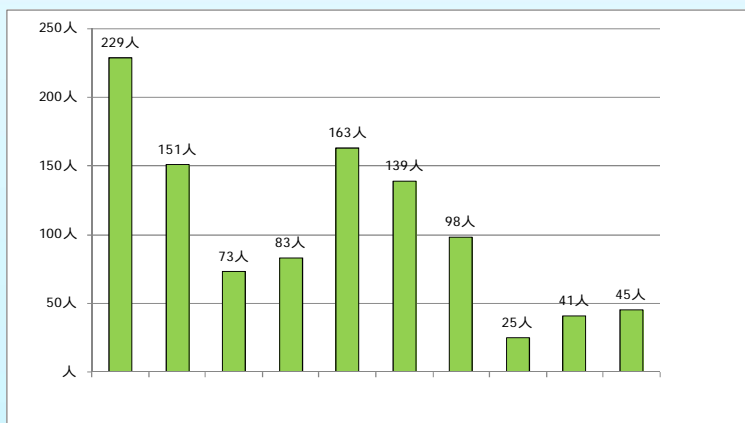
・7割の人が整備されていたことを知っていました。

問2 問1で「はい」を選択した場合、整備に森林環境税が活用されていることを知っていますか。



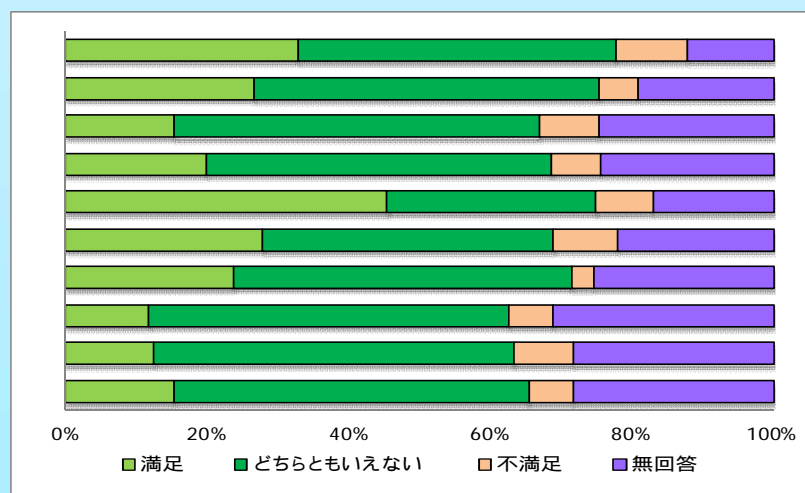
・整備されたことを知っている人のうち、6割の人が森林環境税により整備されたことを知っていました。

問3 里山にどのような役割を期待しますか。



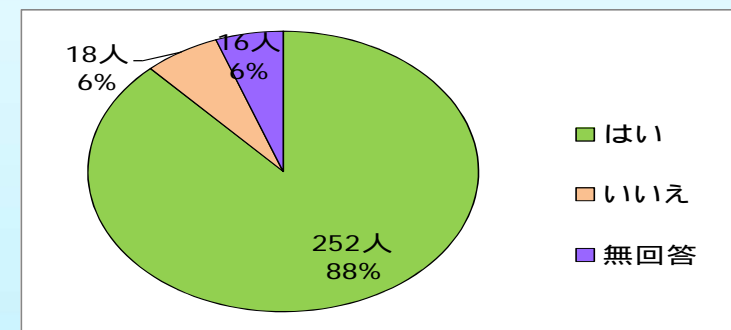
- ・里山の役割として、「土砂流出、崩壊防止」を期待する意見が一番多く、次に「森林景観の形成」、「水源の涵養、水質の浄化」が続きます。
- ・一方、「文化継承の場」、「レクリエーションや交流の場」、「環境学習の場」に対する期待は低い状況です。

問4 今回、実施した里山の整備の満足度役割ごとにお答えください。



- ・満足度では、「森林景観の形成」が一番多く、次に「土砂流出、崩壊防止」、「緩衝緑地の避難空間、鳥獣被害の抑制」が続きます。
- ・一方、「文化継承の場」、「レクリエーションや交流の場」、「環境学習の場」に対する満足度は低い状況です。

問5 今後も里山の整備は必要と思いますか。



・9割の方が引き続き整備の要望をしていました。

問3, 4の質問項目

- 土砂流出、崩壊の防止
- 水源の涵養、水質の浄化
- 木材資源の生産
- 貴重な動植物の生息、生育の場
- 森林景観の形成
- 緩衝緑地の避難空間、鳥獣被害の抑制
- 大気浄化、気候の緩和
- 文化継承の場
- レクリエーションや交流の場
- 環境学習の場

4 寄せられた意見

見通しがよくなり山が生き生きとして見えるようになった。国道からの眺めも良くなり、地域の住民ばかりでなく、多くの人々の心を癒やし、心豊かな気持ちにさせてくれた。猿の出没が少なくなり安心して米作りができた。獣(サル)も人が見える場所を避けて移動するようになった。何年か後に又整備をお願いしたい。山道を整備して欲しい。住民の高齢化、人口減、木材活用が難しく、地元での整備ができなくなっているため、行政側から積極的に実施を希望する。税金の使い道としては意味がない。何を整備したのが把握できない。それに対するアピールがない。又、森林の大切さ、まず教育が大切。